

**平成 28 年度
地域まちづくり活動助成金
活動成果概要**

平成 29 年 3 月
東大阪市 協働のまちづくり部
市民協働室

目次

『地域まちづくり活動助成金』の概要	1
選考方法・審査会委員	1
各交付事業の成果一覧	2-3
活動成果概要	4-59

『地域まちづくり活動助成金』の概要

地域まちづくり活動助成金制度は、東大阪市の地域資源の活用や地域課題の解決に向けたまちづくり活動の活性化を図り、わがまちとして愛着と誇りの持てる市民主体の魅力ある地域づくりを目的としています。

ソフト事業	スタート支援部門	立ち上げて5年未満の団体が、活動基盤を整えたり、新たな事業を始めたりするのを支援する助成金。
	事業チャレンジ部門	団体が、将来に亘って自立・継続して活動するための事業への助成金。
ハード事業	まちづくりファンド調査研究部門	次年度、まちづくりファンド部門に申請するために、事前に必要な調査、研究等を行う事業への助成金。
	まちづくりファンド部門	市民によるまちづくり活動の活性化につながるハード整備事業への助成金。

○選考方法

スタート支援部門	書類と面接（10分程度）
それ以外の部門	書類と公開プレゼンテーション（20分程度のプレゼンテーション）

いずれも「東大阪市地域まちづくり活動助成金審査会」において採択団体や助成金額などを審査します。

○審査基準

- ・事業の公益性 ・事業の実現性 ・事業の創意工夫・先駆性
- ・事業の発展性 ・組織の健全性 ・他団体、企業、行政機関などとの協働性

平成 28 年度東大阪市地域まちづくり活動助成金審査会委員

平成 28 年度の審査は、下記の審査委員により審査を行いました。

	氏 名	選 出 団 体 及 び 役 職
会長	吉田 忠彦	近畿大学経営学部教授
副会長	有田 典代	国際文化交流協会 事務局長
	田中 晃代	近畿大学総合社会学部准教授
	藤江 徹	あおぞら財団（公益財団法人公害地域再生センター）事務局長
	寺岡 丈夫	協働のまちづくり部 市民協働室長

各交付事業の成果一覧

	団体名	事業名	ページ 番号
1	「ひょうたん山夢街道まつり」 実行委員会	「ひょうたん山夢街道まつり」開催事業	4
2	子育て情報発信ぷらっと ホーム	まちカフェ「ぷらっとホーム」事業	6
3	東大阪 22 会	市庁舎 22 階を活用した東大阪市の文化歴史産業の魅力を たどる展示	8
4	工場を記録する会	長寿企業調査のデジタルデータ化とモノづくり体験事業の記録 －工場ミュージアム構想を具体化するための基盤事業－	10
5	大阪学生通訳ガイド団体 Crop-up	東大阪市をグローバルな街に！ 東大阪市の魅力を海外に発信！町工場を観光産業にしよう！	12
6	地域資源わくわくプロジェク ト実行委員会	地域資源わくわくプロジェクト	14
7	東大阪こさか JAZZ 実行 委員会	東大阪 JAZZ ライン 第 8 回こさか JAZZ ストリート	16
8	花園地区商業団体連絡会	ラグビーワールドカップ盛り上げ隊・花園商人塾 (2019 ラグビーワールドカップ花園地区商業活動・地域活性化 基本構想策定事業)	18
9	「みんなでごはん」をつなぐ会	「みんなでごはん」立ち上げプロジェクト	20
10	東大阪子育てほっとネット	訪問型子育て支援「ホームスタート」立上げ事業	22
11	小阪わいわい協議会	ラボ de おけい推進事業	24
12	ささえ愛、わかば	高齢者ふれあいサロンと介護予防の推進事業	26
13	東大阪市 A リージョン 「みんなの『集いの場』を つくろう会」	「『集いの場』の集い」開催事業	28
14	花園商店会	商店街空き店舗・サロン等活用型地域健康づくり拠点整備 運営事業	30
15	福祉活動グループ 竹とんぼ	サロン発子育て支援と介護予防	32

	団体名	事業名	ページ 番号
16	コミュニティカフェ・ひだまり	コミュニティカフェは、支え合いの地域を創る有効な社会資源	34
17	小阪中校区まつり実行委員会	第4回小阪中校区まつり	36
18	あきばこ家	長屋を利用した交流拠点の創出	38
19	つながり会	山麓地域 皆で生き生き生きるサロン	40
20	特定非営利活動法人 きらりっこ	人形劇を地域で公演し、楽しんでもらい地域交流を図る事業	42
21	梶無神社ふれあいやさい市 実行委員会	梶無神社ふれあいやさい市開催事業	44
22	2019RWC・ShinIkeshima ・「遊」・Space	安心・安全・快適なまちづくり事業	46
23	ポイ捨てボクメツ作戦実行 委員会	D 地域 ポイ捨てボクメツプロジェクト	48
24	東大阪フォレストクラブ	森林保全整備活動と森林整備体験講座	50
25	HWJ 東大阪	犬猫の殺処分ゼロを目指し、動物の命を啓発する事業	52
26	特定非営利活動法人 おまけ文化の会	宮本順三記念館・豆玩舎 ZUNZO 未来の夢と文化の駅事業	54
27	日下山を市民の森にする会	「日下山」利活用促進整備事業	56
28	「ラグビー聖地花園をもうひとつの聖地に」実行委員会	「ラグビー聖地花園をもうひとつの聖地に」関連事業調査研究	58

平成28年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	「ひょうたん山夢街道まつり」開催事業		
団体名	「ひょうたん山夢街道まつり」実行委員会		
助成区分	スタート支援部門	助成金額	150,000 円

事業の目的・内容	目的	生駒山麓に位置する当地域の豊かな歴史・文化資源の存在と魅力を広く発信し、興味と関心の輪を広げ、郷土への愛着と誇りを育む。また、地域の賑わいの創出、人々の交流の促進を図る。
	内容	この地域を南北に貫き、古来より、京の宮人や戦国武将が多数往来し、歴史に彩られた東高野街道を舞台に、市民参加による「時代行列パレード」をメインとしたイベントを開催し、地域の豊かな歴史・文化資源の存在と魅力を広く発信する。

活動実績	<p>① 「ひょうたん山夢街道まつり通信」の発刊・情報発信 (第1号：4月15日、第2号：10月15日 B地域自治会配布)</p> <p>② 「市民ふれあい祭り」パレードに参加、取り組みアピール(5月8日)</p> <p>③ 「ひょうたん山夢街道歴史シンポジウム」 (7月31日、四条リージョンセンターにて開催) 【第一部】基調講演 「信仰とまちの歴史」 【第二部】パネルディスカッション「占いの路 東高野街道」 (参加者) 約60人</p> <p>④ 第2回「ひょうたん山夢街道まつり」(11月6日開催) 旭町子育て支援センターから四条リージョンセンターまでの間約1Kmを東高野街道の歴史を振り返り、参加者手作りの装束で武将や宮人に扮し、「時代行列パレード」を実施。併せて、駅前広場で、地元グループの参加による大道芸や河内音頭などのイベントを開催。 (パレード・イベント参加者 約130人)</p>
------	--

目 標	<p><申請時></p> <p>時代行列パレード、イベント 参加者：100名</p>	<p><事業実施後></p> <p>大商大ボランティアサークル、経法大ゼミ生の若い人達の参加協力が得られた。:130名</p>
事 業 の 成 果 ・ 効 果	<p>歴史シンポジウムの開催並びに時代行列パレード等市民参加によるイベントの開催により、当地域の豊かな歴史・文化資源の存在と魅力の再発見、興味と関心の輪を広げることができた。</p> <p>また、地元自治会をはじめ商店街の支援や高校生、大学生など若い人達の参画により、地域の賑わいづくり、コミュニティの活性化にも寄与できた。</p>	
今 後 の 事 業 展 開	<ul style="list-style-type: none"> ・継続した取組みとするために、引き続き地元関係団体や商店街への働きかけを行うとともに、取組みに賛同、協力いただける人材の発掘に努める。また、イベント開催に向けては、高校・大学との連携を更に密にし、若い人達の参画の輪を広げていく。 ・子ども達が興味を引き、参加したくなる取組みを検討していく。 	

*活動内容がわかる写真を添付してください。



ひょうたん山夢街道歴史シンポジウム(28.7.31)



「第2回 ひょうたん山夢街道まつり」
時代行列パレード (28.11.6)



「第2回 ひょうたん山夢街道まつり」
せせらぎイベント(28.11.6)



「第2回 ひょうたん山夢街道まつり」
記念写真コーナー(28.11.6)

平成28年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	まちカフェ「ぷらっとホーム」事業		
団体名	子育て情報発信 ぷらっとホーム		
助成区分	スタート支援 部門	助成金額	100,000 円

事業の目的・内容	目的	子育ての支援や孤立化を防ぐためにある、市などの取り組みや子育てのヒントなどの情報をそろえ、「ここにすればわかる！どこかにつながるができる！居場所」をつくり、「世代を超えた交流がお茶を飲みながら楽しくできる」ことを目的とする
	内容	中鴻池リージョンセンターで催される地域行事の際、場所を確保し、子育てに役立つ情報をポスターやチラシで発信する。親子で参加できる季節に合った企画（例：七夕飾り、折り紙等）や、飲み物を提供して、参加者と交流しながら、必要な情報を発信する。リージョンセンター以外でも定期的な街角カフェを開催し、気軽に立ち寄れる場所の運営を行う

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中鴻池リージョンセンターでのコミュニティカフェ運営 <ul style="list-style-type: none"> 7月3日(日)すずかぜコンサートでのカフェ運営（120杯） 8月7日 工作フェスタでの展示 9月11日 健康まつりでのカフェ運営（70杯） 10月30日(日) 鴻池ジャズストリートでのカフェ運営（200杯） 2月12日(日) グリーンフェスタでのカフェ運営（200杯） ・ 地域行事での出店 <ul style="list-style-type: none"> 11月20日(日)盾津中学校において、盾津ふれあいフェスティバルへの出店（子ども食堂の試行的取り組み）→団子汁の提供（150杯分） 11月27日(日)寺嶋公園での鴻池ファミフェスでの展示（雨天のため中止） ・ 9月よりほぼ毎月、年間計6回の（谷口邸での）定例まちカフェ ・ 地域広報誌、自治会回覧での周知活動
------	--

目 標	<申請時> まちカフェへの来場目標 1,200 人 会員の倍増	<事業実施後> まちカフェへの総来場数 約 800 人 会員としては数名増えた程度
事 業 の 成 果 ・ 効 果	中鴻池リージョンセンターの行事では、イベントに参加しに来られた地域住民らが気軽に立ち寄り、飲み物を飲みながら交流する機会を提供できた。子連れの親子も参加し、七夕飾りや折り紙等で季節にあった催しも企画した。地域の顔の見える関係性の中で、世間話を通して近況を伝え合ったり、住民同士がつながりあうサポートもできた。また、盾津ふれあいフェスでは「子ども食堂」の看板も掲げ、活動の周知と「子ども食堂」開設に向けた地域での認知度も高まった。9 月からはじまった定例まちカフェは、まだまだ認知度が低く、立ち寄る人数はまばらである。定例化はしてきているので、宣伝方法も含め、再検討する必要は感じている。	
今 後 の 事 業 展 開	地域の広報誌（グリーンパル）や Facebook での情報発信は引き続き行っていく。今年度行った行事ごとのカフェ運営も、定着しているので継続する。子ども食堂開設については、もう少し準備期間を設けた上で、次年度中には開設できるよう協力者、提携先とも協議しながら事業拡大していく。	

中鴻池リージョンセンターでのカフェ



盾津ふれあいフェスティバルへの出店
 盾津中学校 運動グラウンドにて



平成28年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

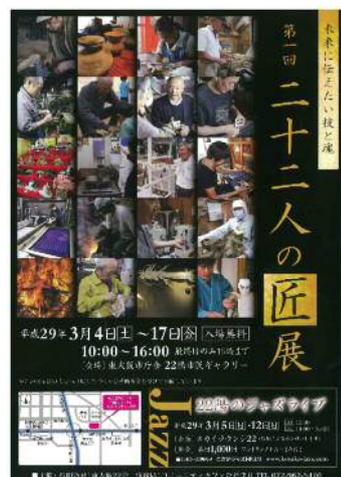
事業名	市庁舎 22 階を活用した東大阪市の文化歴史産業の魅力をたどる展示		
団体名	東大阪 2 2 会		
助成区分	スタート支援部門	助成金額	152,000 円

事業の目的・内容	目的	22階のレストランが長らく閉店のままであった頃から、市民の手で22階の活性化ができないかと26年5月から話し合っていた。27年5月にレストランがオープンするのと同時に、市民の力で22階の活性化を図り、この街の魅力を発掘し、子供たちに、誇れる街であることを伝えたいと強く願っていることがきっかけとなっている。
	内容	ものづくりのまち、歴史あるまち、文化の匂いが濃いまちであることを、広く紹介できるように、隠れた情報を仕入れて、展示会を通じて伝えようとする。今回は、河内木綿の歴史や工芸展と、22人の匠展と同時に小阪ジャズの方に22階のレストランで演奏会を催して頂き、互いのファン層に来場してもらえるような相乗効果を狙った取り組みを行った。

活動実績	<p>9月15日～25日の11日間は「河内木綿の今、むかし、これから」。来場者は約350名。小学校からの見学もあり、動く展示というタイトルどおり、毎日、はた織りをしてもらいながら河内木綿を身近に見て頂いた。また、9/17には、関西若手の講談師、旭堂南青氏による、中甚兵衛と河内木綿と題してオリジナルの講談を22階レストランにて講演頂く。来場者は46名、お茶とケーキ付で土曜の昼下がりを楽しんでもらった。</p> <p>河内木綿については、河内木綿はたおり工房の方々に当番に入ってもらい、解説も含めて11日間担当して頂いたので、じっくりと来場者には見て、触れてもらう機会を設けたので、大変好評であった。</p> <p>3月4日～17日の2週間は、「22人の匠展」。市内の22人の匠といわれる方々への取材で優れた技と伝統や思いを市民に知らせることができた。この期間の2回の日曜日に小阪ジャズの方に演奏会を22階レストランで披露してもらい、22階の眺望とジャズの生演奏を楽しんでもらった。2日間で100名の方の参加を目標にしている。他の市民活動団体との協働を図ることができた第一歩である。</p>
------	---

目 標	<申請時> 毎回の来場者は 600 人を目標とする	<事業実施後> 9/15～25 来場者 400 名、うち 9/17 中甚兵衛と河内木綿来場者 46 名 3/4～17 22 人の匠展 現在開催中
事業の成果・効果	<p>「河内木綿の今、むかし、これから」の展示は、はた織り動く展示と題し、実際のはた織りを毎日動かしながら、最終日には織物を仕上げるという趣向にしたので、出来栄も楽しみにしながら見て頂いた。また、河内木綿という郷土の名がついた品物も実際には、綿の実や織物に触ることのなかった子どもたちには、見て触ってもらえたことは、学習にも役立ったと思う。実際、4年生では河内木綿を授業で習うため、近隣の小学校から来場があり、生徒達は 22 階の景色を楽しみながら、はた織りも見学した。動く展示としては効果があった。綿の実を持ち帰ってもらい、来年に植える体験を勧めた。</p> <p>22 人の匠展は、市内の工芸や産業で匠と呼ばれる人を取材し、写真と説明文、お借りした小物を展示した。この準備には半年近く要した。専門家への取材でもあり、思った以上に準備期間が必要となった。市内には、さまざまな技術をお持ちの方がおられることを改めて、市民や子どもたちに知らせ、誇りある街であることを知ってもらえることだろう。この期間に小阪ジャズとの協働ができ、お互いに関わる人に相乗効果があることを希望する。</p>	
今後の事業展開	<p>市内には、まだまだ知らせたい伝統やエピソードがある。今後も、これらを発掘しながら、面白く、また興味の出るような形をとって、22 階の市民ギャラリーの活性化を図りたい。</p> <p>今年度予定していた、河内の芸、しられざる芸人と芸能の取材と展示を、今後は取り組みたい。取材や準備期間には、もう少し時間的余裕をもった計画が必要だ。市民活動として継続こそが力になるだろうと思われる。</p>	

*活動内容がわかる写真を添付してください。



平成28年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

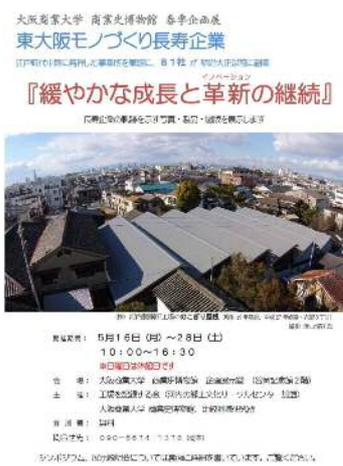
事業名	長寿企業調査のデジタルデータ化とモノづくり体験事業の記録 —工場ミュージアム構想を具体化するための基盤事業—		
団体名	工場を記録する会		
助成区分	スタート支援部門	助成金額	100,000 円

事業の目的・内容	目的	工場を記録する会の目的は東大阪市製造業の活力を後世に伝えることであり、集大成として工場ミュージアム建設を目標とする。第一歩は明治大正以前に創業した長寿企業を調査して発表する。次の歩みは、未来に向けて現状を切り拓く企業の地域活動に注目して記録活動を展開する。
	内容	基盤となる資料のデジタル化とバーチャル版工場ミュージアムに取り組む。それとともに長寿企業が積極的に地域で果たしている役割を記録してホームページをつうじて発信する。具体的には会社見学、モノづくり体験教室を取材し、小学校区域とのつながりを記録する。当該事業所の沿革を含めてバーチャル版工場ミュージアムの項目として編集・公開する。

活動実績	<p>① 5月16日～28日 企画展『東大阪モノづくり長寿企業』 於：大阪商業大学商業史博物館企画展示室 来場者数 450 人（一般 150 人、大阪商業大学学生 300 人） 5月21日 シンポジウム『緩やかな成長と革新の継続』 於：大阪商業大学ネットワークレクチャールーム 参加者 50 人（一般 30 人、大阪商業大学学生 15 人）</p> <p>② 6月～2017年1月 ホームページを作成し記事をアップする。 11社の記事を公開。6社のバナー広告を掲載。</p> <p>③ 11月25日 高井田東小学校3年生による株式会社フセラシ工場見学 を取材して記録をホームページに掲載。</p> <p>④ 12月1日 大阪商業大学フィールドワークゼミナール（池田潔教授 担当）の協力要請を高井田まちづくり協議会にお願いした。</p> <p>⑤ 2017年3月後半（予定） 100年企業をめぐる社長対談を撮影してホームページに掲載する。</p>
------	--

目 標	<p><申請時></p> <p>東大阪モノづくり長寿企業を調査し発信する。バーチャル版工場ミュージアム作成する。</p>	<p><事業実施後></p> <p>企画展実施とホームページ作成を通じて高井田地域での活動を構想することができた。</p>
事 業 の 成 果 ・ 効 果	<p>企画展を開催し多数の見学者を得た。その展示データと地域活動の取材をもとにホームページを作成した。2015年度テーマは「高井田の工場を記録する」であった。2016年度は「東大阪モノづくり長寿企業と地域活動」をホームページに記録することであった。今年度は視野を市内全域に広げることができた。</p> <p>ホームページ掲載企業の所在地は下記の通りである。高井田3社と、衣摺・岩田町・菱屋東・松原・箱殿町・四条・東山町・上石切町の各1社である。これら企業の地域活動に注目して取材した。そのなかで特に高井田東小学校による株式会社フセラシの工場見学に意義を見出した。それは小学3年生の感想文によく表れている。「ぼくの家近じょだけどこんなにすごいとおもいませんでした」。長年にわたる株式会社フセラシの取り組みと高井田東小学校3年生の毎年の見学によるものである。なお高井田西小学校の校区で弊会ホームページ掲載企業がなかったため同校の社会見学は取材できなかった。</p>	
今 後 の 事 業 展 開	<p>株式会社フセラシと高井田東小学校による発見を大切にして2017年度は大阪商業大学フィールドワークゼミナール（担当：池田潔教授）の活動地域を高井田に設定する。高井田地域の諸課題（事業承継・住工共生・ものづくり教育等）を具体的に把握して問題解決の方向を探る。</p> <p>上記取り組みをバーチャル版工場ミュージアムに掲載する。あわせて2017年10月に大阪商業大学で開催される日本中小企業学会の第38回全国大会においてバーチャル版工場ミュージアムの内容をリアル展示する。</p>	

*活動内容がわかる写真を添付してください。



平成28年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	東大阪市をグローバルな街に！ 東大阪市の魅力を海外に発信！町工場を観光産業にしよう！		
団体名	大阪学生通訳ガイド団体 Crop-up		
助成区分	スタート支援 部門	助成金額	50,000 円

事業の目的・内容	目的	海外の人そして地域の人に東大阪の町工場が取り組んでいるものづくりを体験、体感できるイベントを作り、ガイドする。イベントの中で MADE IN JAPAN のものづくりの魅力を伝えることにより東大阪の街全体をグローバルな街にしていくため。
	内容	<ul style="list-style-type: none"> 東大阪市の魅力の一つである「中小企業モノづくり」を取り入れたイベントを行い、海外や次世代の子供向けに国際交流イベントを行う。 東大阪市内の工場を取材し、東大阪のモノづくりについて海外に発信する。

活動実績	<p>平成28年10月まで、協力工場と布施商店街のEVISU観光協会、一般社団法人日本スローツーリズム等の各協力会社との会議を月2回、会議を開催。</p> <p>平成28年11月にはJ-com 東大阪局の番組「デイリーニュース」に国際交流イベントのお話で生出演させていただきました。</p> <p>同月に、東大阪新聞にて「国際交流イベント」について取材していただき、Yahoo!ニュースに掲載していただきました。</p> <p>同年11月20日、12月4日に国際交流イベントを開き、延人数22人に参加していただきました。</p> <p>平成29年2月10日 Youtubeにて、活動動画を掲載しました。</p> <p>平成29年2月18日 中辻金型工業株式会社と協同し、工場での市民向け金型イベントを行いました。延人数6人に参加していただきました。また同日取材を行い、工場の紹介動画を英語にて作成いたしました。</p>
------	---

目 標	<申請時> イベント開催 5回 参加者数 40人	<事業実施後> イベント開催 3回 参加者数 28人
事業の成果・効果	<p>国際交流イベントの開催並びに、工場とのイベント、英語での動画作成により、当該地の海外の方々との交流や、海外に向けての情報発信ができた。これは、Facebook で 2049 人の全世界のユーザーが閲覧したことが確認されている。また、東大阪のモノづくりの技術や工場について市民や協力団体に改めて紹介できた。これを通じて、協力団体は来年度モノづくりを中心としたツアー形式のイベントをすることを企画している。当団体が国際交流イベントを布施商店街内で行い、布施周辺の歴史を伝えるツアーを行ったことにより、これから東大阪市民が地元の国際化を見据え、地元の発信を行うきっかけとなった。</p>	
今後の事業展開	<p>これらのような地域活動を協力団体とともに続けていくことにより、今後の東大阪市内の国際化に貢献できると考えている。また、今回訪日外国人が少なかったため、より多くの在日外国人や、ホテルに宿泊する外国人に告知できるようにしていきたい。今後は、当事業を通して繋がったモノづくり関係の方々と共に、より大規模なツアーやイベントを作っていこうと、考案中。</p>	



平成28年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	地域資源わくわくプロジェクト		
団体名	地域資源わくわくプロジェクト実行委員会		
助成区分	スタート支援部門助成金	助成金額	68,000 円

事業の目的・内容	目的	時代とともに失われがちな地域(郷土)の興味深い場所、景観、伝承を、より多くの人に楽しく伝え、大人から子供へ世代を超えて伝えてもらうきっかけ作りとし、単一地域の場所や景観、歴史(郷土史)・史跡紹介から一歩踏み込んで、地域の特産、伝承や食文化を組合せて紹介できるコースを設定し、楽しく、わかり易い小旅行のような参加体験を通じ、地域への愛着を深めて行く為の基盤となる活動をするために設立しました。
	内容	身近な地域に点在する興味深い場所、景観、伝承、食文化などを組合せた①創作コースを開発する。②従来のまち歩きと異なった小旅行型の「参加体験」となる様、実施企画書を作成する。③企画書の実施可否を検証のため、試験試行を経て本番用イベント実施書を作成する。④実施に向けた諸団体へ協賛依頼する。⑤本番実施と結果の評価、反省を行い、次回へ継承・改善を行います。

活動実績	<p>1、平成28年4月～6月</p> <p>(1)プロジェクト推進会議(原則:1回/月開催)</p> <p>①前回開催イベントの評価と反省についてメンバーにて再確認する。</p> <p>②今回開催するコース候補の提案と、それらの詳細について調査・検証を実施する。</p> <p>③コース候補をプロジェクトメンバーにて試験試行し、問題点を抽出する。</p> <p>④コース問題点を解消する改善、計画の一部修正、伝承の再検証等を実施する。</p> <p>⑤改訂版イベント実施計画書に基づく再試験試行を実施する。</p> <p>⑥本番イベント実施決定計画書を作成する。</p> <p>2、平成28年7月～9月</p> <p>(1)本番イベントの実施に向けた準備会合(必要に応じて随時開催)</p> <p>①本番イベント実施計画書に基づき予算書を作成する。</p> <p>②イベント参加募集の開始(チラシ作成)、近隣への配布及び諸団体へのPR</p> <p>③本番当日の準備品や運営等の実施要領を確認する。</p> <p>④準備品の購入及び下拵えをメンバーにて実施する。(会合を数回開催)</p> <p>⑤参加者募集の広報成果を確認する。</p> <p>3、平成28年9月25日(日曜日)</p> <p>(1)本番イベント実施</p> <p>(2)イベント終了時に参加者全員にアンケートを実施する。</p> <p>(3)更に、イベント終了後にメンバーにて本イベントに対する評価と反省を実施する。</p>
------	--

目 標	<申請時> 1、体験型地域資源探索ファミリーウォーキングの実施。 2、次年度用イベントのルート開発と試行。	<事業実施後> 1、H28-9/25 ミステリーウォーキングを実施・好評。 2、次回開催要望多し、新ルート開発案を基に関係団体も参加頂き、往生院へ試行。
事業 の 成 果 ・ 効 果	1、東大阪市地域まちづくり活動助成金を頂き、第2回イベントわがまちファミリーウォーキングを開催しました。テーマは、「ミステリードラゴンウォーキング」です。 2、参加者は、子ども10名と大人が9名で合計19名でした。(他、スタッフ10名) 3、今回は、①歴史史跡:楠正行の首塚、慈雲尊者碑・立像、重願寺へ、続いて②長尾の滝天龍院へのウォーキングにトライしました。③天龍院お寺の歴史・慈雲尊者の修行を説話、更に、④ミステリードラゴン手作り、各人品評会等大好評のもと無事終了。 4、イベント実施を通して、新しい史跡の発見と郷土愛の醸成に繋がりました。 5、本イベントに近隣7団体から協力頂き、地域としての絆を強く出来ました。 6、次イベント開催に向けた会合開催(1回/月)と12月に試験試行を実施しました。	
今 後 の 事 業 展 開	1、第3回イベントの開催に向けた対象コースの選定作業に着手しました。 2、テーマは、生駒山の森林保護と私たちの日常生活の関係について地域の皆さんと勉強しようとして計画しています。 3、H28-12/17(土)往生院での昔の竈を使っての炊飯を体験する試験試行を実施しました。 4、今は、試験試行の結果について問題点の抽出と、計画の修正作業中です。 5、予定としては、第3回イベントを5月連休に実施したいと思っています。 6、更に、プロジェクトメンバーの増員に向けて募集活動を進めてまいります。	

*活動内容がわかる写真を添付してください。



平成28年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	東大阪 JAZZ ライン 第8回こさか JAZZ ストリート		
団体名	東大阪こさか JAZZ 実行委員会		
助成区分	事業チャレンジ部門	助成金額	500,000 円

事業の目的・内容	目的	東大阪の小阪の街から近鉄奈良線沿線上に質の高いプロ等の演奏を聴き広げ音楽文化の発展と、賑わいのある魅力アップの街づくりを進めます。毎年恒例化することで、東大阪市内・各地域の活性化を目指しつつ市民の文化向上に貢献する事を目的とします。
	内容	正時代にアメリカ発祥の JAZZ が大阪で流行し、東大阪では「東洋のハリウッド」と言われた帝国キネの小阪・長瀬撮影所で多数の映画が撮影され昭和4年には映画「恋のジャズ」(鈴木重吉監督)が製作され帝キネジャズバンドも活躍していたと伝えられています。この様に「帝キネ」や「ジャズ」に縁の深い東大阪の小阪の街から音楽文化の発展と地域の活性化を目指しつつ、市民の文化向上に役立つと考えています。

活動実績	3月小阪・八戸ノ里菜の花バル2会場にて演奏、音楽啓蒙
	5月東大阪市ふれあい祭り参加での音楽啓蒙
	7月近江堂リージョンセンター蓮の広場にて住民の憩イベント参加
	7月東大阪ブランド主催のイトーヨーカ堂にてプレイベント音楽啓蒙
	7月小阪駅前にてプレイベント演奏、音楽啓蒙
	10/9本番18会場にて開催

目 標	<p><申請時> 参加述べ人数約 1 万人</p>	<p><事業実施後> 参加述べ人数約 8 千人程度</p>
事 業 の 成 果 ・ 効 果	<p>大阪樟蔭女子大学様の協力により市民アンケート調査を実施して頂きました。結果、市民の方々は 10 月本番日以外のイベントも楽しみにしているとのご意見を多数頂くように成りました。(特に年配の方)</p> <p>もっと街中に音楽を広げて素晴らしい街作りをしてほしいとのご意見を多数頂きました。また今後も継続してほしいとのご意見も頂きました。各メディア（NHK、情報紙等）よりの取材も頂き、また FMcocolo よりも宣伝頂きましたので認知度も上がって参りました。</p> <p>そして、関心の低かった市民の皆様も音楽に興味を持って頂くように成り、広域からも音楽ファンの人々が東大阪に集うように成りました。それにより音楽で地域活性化を目指す小阪 JAZZ 実行委員会の活動が音楽文化向上、地域貢献と役立つ事が出来たと考えます。</p>	
今 後 の 事 業 展 開	<p>市民の方々の認知度はあがりましたが、スポンサー様、協賛頂く企業様の認知度、応援体制はまだまだ低く資金不足の状態と成っています。</p> <p>しかし市民の方々のご要望がある限り、創意工夫を尽くして継続出来るように応援企業様を見つける努力も行って参ります。</p> <p>東大阪市と言えば JAZZ ストリートとの認知頂けるような街に出来るようにして行きたいと存じます。</p>	

*活動内容がわかる写真を添付してください。



平成28年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	ラグビーワールドカップ盛り上げ隊・花園商人塾		
団体名	花園地区商業団体連絡会		
助成区分	チャレンジ 部門	助成金額	700,000円

事業の目的・内容	目的	<p>1. 2019年ラグビーワールドカップに向けて、来客増を図り、商店街や地域活性化に繋がる為の課題や準備の勉強会を開催。</p> <p>2. 勉強会（花園商人塾）の開催を通じて、それぞれの商店街や店舗等のビジョンや活性化戦略を練ると共に先ずは足下から「自分磨き」や「魅力ある商品・店舗・商店街づくり」を行う。</p> <p>3. 花園地区3商店街及び飲食店会との連携強化を図る。</p>
	内容	<p>1. 花園商人塾を5回開催。10/6、11/12、1/21、2/23、3月末頃</p> <p>2. 11/26「花園百円笑店街」のイベント等を通じてアピール。</p> <p>3. 百円笑店街のイベントを兼ねたワールドカップ盛り上げ隊のチラシを配布し、啓発を行う。</p> <p>4. 横断幕やラグビー場～花園駅までの小旗は設置を見送り。</p>

活動実績	<p>1. ワールドカップ盛り上げ隊・花園商人塾の開催（別添案内状参照）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回（開講式）10月6日 25人 ※産経新聞10/15付に記事掲載 「2019年ラグビーW杯開催に向けた東大阪市の取組み」 ・第2回 11月12日 11人 「ラグビー場から花園駅までの人の流れ・動線をどう作るのか」 ・第3回 1月21日 8人 「魅力ある商品・お土産・話題づくりとは何かを考える」 ・第4回 2月23日 10人 「決め手は情報発信力。SNSの活用事例やネットワークを考える」 ・第5回 3月下旬（日程調整中） 「グループワークを行い、ラグビーW杯に向けた事業構想を考える」 <p>2. 花園百円笑店街（11/26）のイベント等を通じてアピール。 チラシ（1万枚）配布。ラグビー場～花園駅間をウォーキング。 参加者へクーポン券@100円配布（約600人が参加）</p> <p>3. 一般社団法人東大阪ツーリズム振興機構の企画に参加。</p>
------	---

目 標	<p>＜申請時＞</p> <p>2019年ラグビーワールドカップを花園地区の商店街・地域の活性化等に繋げて行きたい。</p>	<p>＜事業実施後＞</p> <p>活性化に向けた課題等が数多くあり、先ずは自らの足元である、商品・店舗・商店街をどうしていきたいかの意識改革。</p>
事 業 の 成 果 ・ 効 果	<p>市の 2019 年ラグビーワールドカップに向けた取組み等と連動し、会場の直近である花園駅周辺の商店街として、商店街と地域の活性化に向けた取組みを行う機運の盛り上げを図ることができた。計 5 回の商人塾を通じて、どのような課題があり、どのように取組みを開始したらよいか、模索しながらではあるが活性化に向けたイメージづくり等が出来た。</p> <p>魅力ある商品・店舗・商店街づくりをし、SNS 等を駆使して巧みに情報発信が出来たとしても、やはりネックはラグビー場から花園駅までの動線（道程）が分かりにくいことが挙げられる。百円笑店街のイベントでは約 600 人が参加し 250 人が花園駅～ラグビー場間を往復したが、分りづらかったという声も多かった。いろいろと課題が見えたことも成果である。</p>	
今 後 の 事 業 展 開	<p>ラグビーW 杯は未だ 3 年先であり、先ずは自らの店舗や商店街をどうしたいのかというビジョンを描くことが大事であり、それに向けた具体的な取組みの積み重ねこそが手にできる（手元に残る）成果であると考え、各商店街で意見交換を行い、第 5 回のワークショップ（活性化構想の検討会）を行うこととなった。また、地域の歴史・文化等も外国人観光客等には社会資源であり、W 杯開催時期の 10 月は秋祭の季節であり、どのように連携できるか検討したい。引き続き「活性化構想」を踏まえて「花園商人塾」を継続して行きたい。</p>	



平成28年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

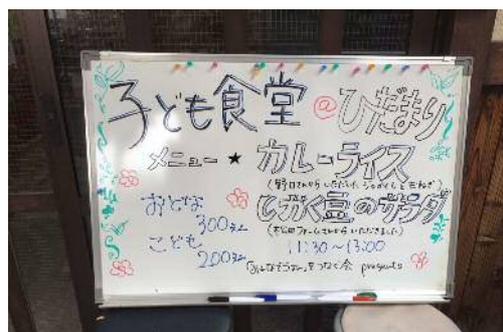
事業名	「みんなでごはん」立ち上げプロジェクト		
団体名	「みんなでごはん」をつなぐ会		
助成区分	スタート支援部門	助成金額	100,000円

事業の目的・内容	目的	「食」を通じて、地域ぐるみで子どもを見守り大事にする。垣根のない「子どもの居場所」を創り出すこと。また、そのノウハウを構築し、地域コミュニティに働きかけることで子どもの居場所づくりの活性化を図ることを目的とする。
	内容	①「子ども食堂」の開催 ②「みんなでごはん」立ち上げワークショップ開催

活動実績	<p>①平成28年9月より毎月第3土曜日、花園のコミュニティカフェ「ひだまり」にて、「子ども食堂」を開催。毎回30食用意。子ども20～30名、大人4～5名の利用がある。子ども200円、大人300円でカレーとサラダ。デザートやお菓子は差し入れのある時に提供。</p> <p>有志の方々からお米や野菜などの食材提供があり、毎回カレーの味も変わり、工夫を凝らしている。参加費の徴収で赤字にはならない。</p> <p>②平成28年8月20日、若江岩田イコーラムにて、フォーラム開催。</p> <p>“みんなで「子ども食堂」を考えよう”フォーラムと、3地域に別れ、分科会開催。市職員、市議員、市内スクールサーシャルワーカー、市民活動に関わる人、PTA等、子ども食堂に興味のある市民56名が参加。</p> <p>第1部では、桃谷こども食堂の尾関氏を招き「子ども食堂を考える」と題して2年間の経験等を講演頂く。</p> <p>第2部では、参加者が東中西の地域に別れ「子どもの居場所づくり」について意見交換を行い、各グループから発表の場を設けた。</p>
------	---

<p>目標</p>	<p><申請時> 地域コミュニティの活性に興味のある市民、子どもに関わる諸団体の参加 40 名</p>	<p><事業実施後> フォーラムでは、予想以上の 53 名が参加。多くの方と出逢えた。その後も、各団体と交流や情報提供、ノウハウの提供ができたので、成功だったと思う。</p>
<p>事業の成果・効果</p>	<p>子ども食堂については、28 年 9 月より毎月第 3 土曜に開催することで、子どもたちも毎回楽しみに来てくれる。初回は 40 食を用意し完売。以後 30 食用意。2 月は子ども 33 名大人 8 名の参加とスタッフ 7 名。30 食用意するも足らずに追加調理するほどになった。9 月以降来場者 180 名余りとなる。</p> <p>1 月にはスタッフとかるた取りができ、子どもたちがボードゲームで遊ぶスペースも作り、居場所として少しずつ根付きだした。また、市民には「何かお手伝いできれば」と申し出てくださる方もおられ、マスコミで取り上げられる「子ども食堂」が身近にあるということで、市民の関心が少しでも発掘できたことは成果であると思う。子供らが帰宅後に「子ども食堂のこと」を話してくれるという保護者からのメッセージも頂き、コミュニケーションの 1 つになるのだということを実感している。</p>	
<p>今後の事業展開</p>	<p>子ども食堂は、継続することで、大人にとっては「子どもの居場所づくり」を考える啓発となり、子どもにとっては、土曜のお昼ごはんを月 1 回でも地域にある子ども食堂に行き、食し遊べる場所として、子どもの居場所として根付いていくので、今後も同じペースで、スタッフにとっても無理のないように継続することを主としていきたい。より一層の参加者や協力者を募りながら、コミュニティを少しずつ発展できればよいと考えている。</p>	

*活動内容がわかる写真を添付してください。



平成28年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	訪問型子育て支援「ホームスタート」立上げ事業		
団体名	東大阪子育てほっとネット		
助成区分	スタート支援部門	助成金額	100,000 円

事業の目的・内容	目的	物理的、精神的に孤立している家庭を対象とした家庭訪問をすることにより、立ち直りのきっかけを与え、地域への参加を促すための手助けをする「ホームスタート」事業を東大阪市において立ち上げることが目的である。
	内容	今年度は、まずオーガナイザー研修を受け、「ホームスタート東大阪」を立ち上げた上で、周知活動及び訪問ボランティアの養成講座開催に向けての説明会をおこなう。

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・4月から現在までにプロジェクト会議を16回開催し、計画通りに事業を押し進めた。 ・8/5に地元であるJA日下においてホームスタートの説明会、子育てについてのワークショップイベントを開催した。 ・8/26, 27に、大分県別府市で開催された、ホームスタートジャパンが主催するオーガナイザー養成講座(2名)、トラスティ研修(1名)に参加し、プレスキーム「ホームスタート東大阪」の認定を受けた。 ・9/15に市が主催する「テーマ別まちづくり意見交流会」に参加した。 ・11/22に行政、子育て機関向けの「ホームスタート説明会」をくすのきプラザで開催した。 ・1/27、2/10、3/10に「訪問ボランティア向け説明会」を、くさか、四条、くすのきの各リージョンセンターで実施した。
------	--

目 標	<申請時> ホームスタートのプレスキーム認定を受け、訪問ボランティア研修実施までの準備をする。	<事業実施後> 予定通りに活動を進め、目標を達成することができた。3月中に勉強会をおこないさらに理解を深める予定。
事 業 の 成 果 ・ 効 果	<p>東大阪市の子育て支援の中で手薄な部分である、子育てに不安を抱えた親のニーズに応えるために準備していた事業であるが、今年度の活動により、ホームスタートジャパンの認定を受け、本市初（大阪府で3番目）の事業として立ち上げることができた。</p> <p>また、関係者への説明会を開催し、行政や子育て関係者への周知がある程度できたと考える。さらに、本事業で一番重要となる訪問ボランティアの養成に向けて、説明会の実施を3回おこない、人材の確保もある程度めどがついた段階である。</p>	
今 後 の 事 業 展 開	<p>次年度は、訪問ボランティアを養成するため、ホームスタートジャパンが設定した8日間、40時間の養成講座を計画、実施する。並行して、養成後に事業をスタートさせるために、利用者向けの広報活動をおこなう。</p> <p>夏以降は事業を開始し、年度内に訪問実施の実績を積むことでホームスタートジャパンより正式スキームの認定を受け、次々年度に向けて本格的な事業展開をおこなう予定である。</p>	

*活動内容がわかる写真を添付してください。



H28/8/5 JA 説明会



H28/8/26,27 オーガナイザー養成講座



H28/11/22

ホームスタート説明会

平成28年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	ラボ de おけいこ 推進事業		
団体名	小阪わいわい協議会		
助成区分	事業チャレンジ 部門	助成金額	700,000 円

事業 の 目的 ・ 内容	目的	「子供に優しい、子育てを応援する商店街」を目指す「小阪わいわい協議会」。子どもと地域の大人（商店街なども含む）とのつながりが希薄になりつつある昨今、子供たちの他者とのコミュニケーション能力や問題解決能力の欠如が言われることが多い。そういった問題の解決手段として、さまざまな体験や商店街店舗との関わり合いが有効なのではないかと考える。
	内容	これまで行なってきた商店街活動を発展させ、子どもたちにさまざまな体験ができるようなイベントの開催、子ども達の発育発達に必要なレッスンなどの開催など、商店街が主導となり、子供たちにとって有意な活動を行なっていく。そのためには、まずはわいわい協議会の活動拠点である「小阪ママラボ」を継続して運営し、ママラボの独自採算性を高めることが第一の目標となる。具体的には、収益面での大きな柱であるレッスン事業の強化・推進を図り、拠点の継続を確実なものとするを目的とする。

活 動 実 績	ラボ de おけいこ 事業： 週9コマ 延べ162回（うち発表会2回を含む） 12月末会員数 35名
	おけいこ発表会： 参加人数 93名
	ミュージックカフェ： 8回 （延べ参加人数 96名）
	不定期開催イベント： 5回（延べ参加人数 21名）
	夏祭りイベント： 子どもお店体験 参加者10名
	ハロウィンスタンプラリー： 参加人数 607名
	イベント参加者 累計 827名

目 標	<p><申請時></p> <p>「ラボ de おけいこ」入会者数 50名突破。 その他イベントの参加延べ人数 1000名。</p>	<p><事業実施後></p> <p>「ラボ de おけいこ」入会者数 60名突破。 その他イベントの参加延べ人数 700名。</p>
事 業 の 成 果 ・ 効 果	<ul style="list-style-type: none"> ・ラボ de おけいこ事業の宣伝と周知。 ・商店街・周辺個店の理解と賛同が得られた。 ・樟蔭女子大学・大阪商業大学・近畿大学とのつながりを持つことができた。 ・ハロウィンスタンプラリーにおける参加者数が昨年の 460名を大幅に上回る、607名の参加者を集めることができた。 	
今 後 の 事 業 展 開	<p>助成金申請時に、最たる目標として「ラボ de おけいこ」の入会者数（会員数）が 50人を上回ることをしていたが、残念ながらそれには及ばなかった。しかし昨年度も実施した「ハロウィンスタンプラリー」はさらに盛況となり、600人を超える子ども達が参加してくれるイベントとなった。その際には小阪周辺の個店のご理解とご協力を得ることができ、32店舗のスタンプラリー参加店と 25店舗の協賛店を募ることができた。今後は、目標であった入会者数（会員数）を 60人にまで伸ばすことと、ハロウィンスタンプラリーに次ぐ、人気イベントを開催することが当面の目標となる。それと並行して「子供に優しい商店街作り」に関しても着手していきたいと考える。</p> <p>また「子ども達に対してどのような活動ができるのか」と同じくらい、「ママさん方の共感と理解と協力を得る」ということが大切になると思われるので、そういった内容の活動も今後力を入れて行なっていきたいと考える。</p> <p>さらには周辺の各大学との連携も視野に入れて、我々の活動に学生らを巻き込んでいくような施策を講じたいと考える。</p>	

*活動内容がわかる写真を添付してください。



平成28年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	高齢者ふれあいサロンと介護予防の推進事業		
団体名	ささえ愛、わかば		
助成区分	スタート支援部門	助成金額	200,000 円
事業の目的・内容	目的	<p>長瀬町の高齢化率は東大阪市より10ポイント高く、高齢者単身世帯は約2倍に達している。おもに、住居は1,206戸の公営住宅があり昭和40年代に建設された古い住宅が大半でエレベーターが設置されていないものが大半である。そのため、高齢者にとっては階段の昇降が非常に困難です。「今日は誰とも話していない」「近所づき合いをしていない」「困ったときに頼る人がいない」など孤立し不安を感じている状況にある。大半の高齢者が外出することなく自宅に引きこもり「孤立」している実態があるため。また、住民の聞き取り調査で明らかになった「認知症」や「介護」に対する不安・相談体制などの声が非常に多数を占めていたため。</p>	
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者ふれあいサロン：近隣に居住している高齢者の「居場所づくり」 ○認知症サポーター講座・カフェ：認知症に対するマイナスイメージの払拭や住民が抱えている不安や悩みに対応 ○介護予防推進事業：介護予防教室や健康維持・増進のための勉強会など ○レクリエーション事業：流しそうめん、クリスマス会、餅つきなど <p>上記の事業を通して「地域のコミュニティ拠点」としての役割を担っている。</p>	

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ○実施期間：毎月第1・3木曜日 ○実施場所：東大阪市立長瀬人権文化センター料理室 ○関わった人数：ボランティア 3名 ○参加者：520人（2月現在） ○認知症サポーター講座とカフェ：（28年4/25、68名） （29年1/19、33名） ○介護予防推進事業：9/15、25名、10/20、24名 11/17、22名、12/1、24名 ○その他イベント：流しそうめん 7/21、24名 クリスマス会 12/15、25名 餅つき 1/19、21名
-------------	---

目 標	<申請時> 住民の聞き取り調査で明らかになった「認知症」や「介護」に対する不安・相談体制などの声が非常に多数を占めていたため新規の「認知症サポーター講座とカフェ」を実施	<事業実施後> 認知症サポーター講座・カフェにより認知症に対してのマイナスイメージの払拭や理解が出来たことにより、地域で支えていく仕組みづくりが出来た。
事 業 の 成 果 ・ 効 果	○孤立・引きこもりの高齢者の「居場所」としてのコミュニティの場を提供出来た。 ○認知症サポーター講座・カフェにより認知症に対してのマイナスイメージの払拭や理解が出来た。 ○介護予防事業により健康維持・増進についての意識の向上。さまざまなイベントにより高齢者の「ふれあい」「つながり」「ささえあい」が出来たことにより地域がより一層元気になった。	
今 後 の 事 業 展 開	○サロンの回数と新規参加者を増やしていくことも視野にいれ小学校区から中学校区に事業を展開していきたい。そのことにより1人でも多くの孤立している人や引きこもりを防いでいく。 ○参加者からの聞き取りや関係者会議を開催し活動内容の工夫や点検を実施する。 ○新規の取り組みとして栄養士を招き栄養に関する講座の実施 ○サロン発の取り組みとして世代間交流（高齢者・子ども・障がい者など）の取組み（清掃活動や文化の推進）などにも取組みを実施していく。	

*活動内容がわかる写真を添付してください。

認知症予防(体操)



記憶ゲーム



平成28年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	『集いの場』の集い」開催事業		
団体名	東大阪市Aリージョン「みんなの『集いの場』をつくろう会」		
助成区分	スタート支援 部門	助成金額	100,000 円

事業の目的・内容	目的	A地域にある「高齢者の『集いの場（コミュニティカフェ・サロンなど）』」の関係者らが一堂に会し、情報・意見交換を行い、現行『集いの場』の利用者の増加や充実・発展、新たな『集いの場』の創設に寄与する。
	内容	第1部 基調講演「地域住民の『集いの場』の意義」 講師：前田正道氏（生活支援コーディネーター大阪府指導者） 第2部 『集いの場』の実践報告と情報・意見交換会 実践報告：「ほほえみサロン」宝箱クラブ、「ふるさとサロン」中石切町、「いきいきサロン」東石切町、「紙ふうせん」ボランティアグループ(日下リージョンセンター)

活動実績	<p>H.28. 6.20「定例会」...イベント「『集いの場』の集い」計画決定</p> <p>H.28. 7 「ちらし」「ポスター」の作成・配布 (地域包括支援センター等に配布依頼)</p> <p>H.28. 8.22「定例会」...準備の進捗状況の確認</p> <p>H.28. 9.11「会場下見会」...当日の役割分担決定</p> <p>H.28.10.17「定例会」...基調講演・実践報告のリハーサル および当日の役割再確認</p> <p>H.28.10.30(日) 14:00～16:00 イベント「『集いの場』の集い」 実施場所：介護老人保健施設石きり(東石切町1丁目7-27) 事業に関わった人数：会員・関係者...24人、一般参加者...52人、計76人</p> <p>H.28.12.19「定例会」...反省会</p> <p>H.29. 2.20「定例会」...「活動成果報告会」発表準備など</p>
------	---

目 標	<p><申請時> 一般参加者（『集いの場』関係者および一般地域住民）60人、会員20人、計80人の参加</p>	<p><事業実施後> 一般参加者52人、会員・関係者24人、計76人の参加</p>
事業の成果・効果	<p>会員および関係者以外の方(実際に『集いの場』運営に携わっておられる方、意欲をお持ちの方、地縁団体の方、行政の方、市議員など)が多く集まってくださり(会員および関係者以外の一般参加者52人)、活発な意見・情報交換を行うことができた(当初の目標…会員・関係者20人、一般参加者60人、計80人)。アンケート調査では、回収できた38人分のうち21人から「今後の活動にたいへん役立った」、12人から「役立った」との回答を得ることができた。また、当日、新たな入会者も4人あった。</p>	
今後の事業展開	<p>2か月に一度開催の「定例会」を継続していくとともに、来年度も今回同様の「イベント」開催を計画していく。また、他地域の皆さんへの働きかけを本格的に行っていく。なお、もともとの目的であった『集いの場』つくりに向けた“マップ”作りについても活動を継続、地縁団体の理解・協力が得られるよう取組んでいき、可能であれば製作・配布していく。</p>	

*活動内容がわかる写真を添付してください。



平成28年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	商店街空き店舗・サロン等活用型 地域健康づくり拠点整備運営事業		
団体名	花園商店会		
助成区分	事業チャレンジ 部門	助成金額	126,000円

事業の目的・内容	目的	<p>①(株)ウェルシア薬局店内に備えた多目的スペース『ウェルカフェ』を地域の社会資源として有効活用し、高齢者等が安心して外出・買物等ができる環境づくり、地域包括ケアの推進、地域支え合い・健康づくり等を推進する拠点等の一つとして運営する。</p> <p>②その為の担い手づくりとして、近隣の介護事業所等が連携して専門多職種による社会貢献ボランティアチームを結成する。</p>
	内容	<p>①毎月1回第3木曜日14:00~16:00定例介護相談会を開催。</p> <p>②それに合わせて、暮らしに役立つ商品紹介等のイベントを開催。</p> <p>③夏休み等に合わせて、地域の子ども達と高齢者等の交流型イベントを開催する。</p> <p>④花園地区の「商業祭」=『花園百円笑店街』イベントに参加。</p> <p>⑤高齢者に優しい商店街づくり活動報告・交流会</p>

活動実績	<p>1. 定例介護相談会の実施（開催日、相談者数）</p> <p style="padding-left: 20px;">① 8/18、2人 ② 9/15、1人 ③10/20、1人 ④11/17、1人 ⑤12/15、2人 ⑥ 1/19、1人 ⑦ 2/16、0人 ⑧ 3/16、</p> <p>2. 暮らしに役立つ健康・介護予防情報（イベント）</p> <p style="padding-left: 20px;">①8/18 熱中症対策。経口補水液商品紹介（協力：大塚製薬（株））</p> <p style="padding-left: 20px;">②9/15 口から食べる力を取り戻す。摂食回復支援食の紹介 (協力：イーエヌ大塚製薬株式会社)</p> <p style="padding-left: 20px;">③10/20 電動カートで楽々お買物体験（協力：(株)フレステップ）</p> <p style="padding-left: 20px;">④11/26 花園百円笑店街 健康寿命ウォーキング（協力：川原氏） 花園駅～ラグビー場間を往復（200人）</p> <p style="padding-left: 20px;">⑤12/15 賢い排泄用具の選び方（協力：(株)高橋、ゴトウズプランニング）</p> <p>3. 夏休み企画「人形劇」8/24 40人（協力：NPO法人きらりっこ）</p> <p>4. 3/15 高齢者に優しい商店街づくり事業活動報告・交流会 花園商店街（ウェルカフェや空き店舗の活用）他、近大前商店街 瓢箪山まちづくり協議会の3つの商店街が活動報告・交流を行う。</p>
------	---

<p>目標</p>	<p>＜申請時＞ 定例介護相談会 月2回 計16回 暮らしに役立つ健康・介護予防 計8回</p>	<p>＜事業実施後＞ 定例介護相談会 月1回 計8回 暮らしに役立つ健康・介護予防 計7回 (10/26「花園百円笑店街」含む)</p>
<p>事業の成果・効果</p>	<p>1. 事業を推進する中で『ウエルカフェ』等を地域の有効な社会資源として活用できることがアピールでき、店舗や介護事業所等の民間の社会貢献のモデルとしてイメージすることが出来た。</p> <p>2. 特に「花園百円笑店街」では、「ウエルカフェ」と「コミュニティカフェ・ひだまり」の2つの拠点でイベントを開催し、花園地区商業団体連絡会の協力も得て、地域にこの事業の趣旨を広くアピールできた。</p> <p>3. 近隣の介護事業所等（5ヵ所）の専門多職種によるボランティアグループにより、介護相談会や暮らしに役立つイベントを開催・運営することができ、商店街、民間事業所、NPO、地域社会等との協働活動の一つのカタチが見えてきた。</p>	
<p>今後の事業展開</p>	<p>1. 商店街における空き店舗やサロン等の「場」を活かした地域の介護予防や健康づくりの取組みは、東大阪市にとっても重要施策と考え、類似の取組みを行っている（市の高齢者等に優しい商店街づくり事業を受託した）瓢箪山まちづくり協議会、近大前商店街、花園商店会の3団体による活動報告・交流会を開催して成果を広める。（別添資料 3/15 に開催します）</p> <p>2. 今後も引き続き、「ウエルカフェ」「コミュニティカフェ・ひだまり」の2つの「場」を有効活用し、専門多職種チームと事業展開を継続したい。</p>	



平成28年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	サロン発子育て支援と介護予防		
団体名	福祉活動グループ 竹とんぼ		
助成区分	スタート支援 部門	助成金額	64,000 円

事業の目的・内容	目的	子育て支援（愛ガード含）を通じて高齢者の介護予防につながり、食の共有、サロン活動で健康推進を行う。 体力づくりとして、バトン体操（血流）を普及。
	内容	世代交代の場となり、男女、年齢に関係なく情報交換する事で、地域の安心安全、防災力になっていくと思う。

活動実績	<p>8年前に始めた小さな町（桜町）でのボランティア、サロンに子育て支援活動が、地域の「竹とんぼ」に成長しました。</p> <p>今なお、全員協力してくださっている桜町老人クラブに今年（28年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪府知事表彰 ・東大阪優良老人クラブ表彰を受賞しました。 <p>◎地域まちづくり活動助成金のお陰と大変感謝いたしております。</p> <p>○サロン活動（スタッフ20名前後交代） 毎月第3土曜日（AM10:00～PM1:00）年12回 大人550名 （旭町会館、桜町会館、本町会館） 参加者 小人110名</p> <p>○ランチサロン 4月：グループ発足会 12月：クリスマス会 大人110名、小人30名</p> <p>○子育て支援（12/6、12/7）「竹とんぼサンタ」100組 親子200名</p> <p>○バトン体操 介護予防として考案したバトン体操 バトン作り（新聞紙）が好評で、五条センターでも応募が多く、2回実施しました。（300名程の指導をしました）</p>
------	---

	<申請時>	<事業実施後>
目標	サロン 600名 ランチサロン 200名 子育て支援 150組	大人 小人 サロン 660名 (550+110) ランチサロン 140名 (110+30) 子育て支援 100組 (200名)
事業の成果・効果	<p>○サロンを開設した事で、地域の地理に詳しくなった。 特に男性は、「竹とんぼ歩こう会」が出来るくらい他町会の友達が増えて、色々と企画されています。</p> <p>○女性は、簡単レシピを紹介しているので、買い物の情報交換の場として盛り上がっている。</p> <p>○常に笑いが絶えなくて、全員がおしゃべりに夢中です。</p>	
今後の事業展開	<p>健康寿命を延ばそう!!</p> <p>東大阪市だけではなく大阪府からもバトン体操の出張依頼を頂いています。市の健康づくり課、包括支援と連携して、介護予防活動に取り組んでいきます。</p> <p>一方、子ども食堂も考えています。</p>	

*活動内容がわかる写真を添付してください。



魔法の肩たたき

を作しましょう!

H28.5.30 夜更伊敷で2回
H28.6.30 バトン体操やんばる
子育て支援で「あさるま」

作って相違部

平成 28 年 5 月 30 日 (木) 五条老人センター



サロンは毎回満員です、×22-月替り、

平成28年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	コミュニティカフェは、支え合いの地域を創る有効な社会資源		
団体名	コミュニティカフェ・ひだまり		
助成区分	スタート支援部門	助成金額	200,000 円

事業の目的・内容	目的	<p>地域には、様々な悩みや課題、ニーズ等を持ち、地域から孤立しがちな方々が居られます。気軽に立ち寄れて話もできるホッとした居場所があれば安心です。</p> <p>地域の中で、顔の見える関係になり、つながりを作っていくことは子どもか高齢者に至るまで大切な事だと思います。そういう場や運営を広めて行きたい。</p>
	内容	<p>地域の居場所づくりにはいろんなカタチがあり、カフェはふらっと立ち寄りやすいスタイルだと思います。また、カフェという場だけでなく、そこに想いを持った人が媒介し、来客や地域と交わることでカフェの中にコミュニティという意味が生まれて来ます。コミュニティカフェの良さを、体験を交えながら市内に広めて行く取り組み、人と人や地域につないでいく様々な取り組み（事業）を行ないたい。</p>

活動実績	<p>パソコン教室・・・5月より毎月1回</p> <p>折り紙教室・・・偶数月1回</p> <p>昔懐かしの手作りおもちゃづくり教室・・・8月28日</p> <p>苔だまづくり・・・9月22日</p> <p>歴史まち歩き教室・・・10月？</p> <p>花園「百円笑店街」フリーマーケット・・・11月26日</p> <p>クリスマスコンサート・・・12月23</p> <p>ひだまり寄席・・・2月19日</p> <p>地域の居場所・集いの場づくりサミット in 東大阪・・・3月4日</p>
------	---

目 標	< 申請時 > ①コミュニティカフェ・ひだまりの事業を通じて地域支え合いや つながり作りを更に推進。 ②コミュニティカフェの意義や良さを広め、人材を育成し、市内 各地での開設等を支援する。	< 事業実施後 > ①昨年よりも確実に繋がりづ くりが実感出来ている。 ②
事 業 の 成 果 ・ 効 果	今年度は前年よりも多くのイベントを開催し、地域の方々には大変喜んで頂 けました。ひだまり寄席はお客様の要望であり、は、お客様が講師とな り、開催したものであります。。地域のつながりは信頼関係から始まります。 そして、すぐには出来ないものです。地域の方々が楽しみにカフェに来られ るのを実感しています。	
今 後 の 事 業 展 開	今まで通りのカフェの運営と、これからはコミュニティソーシャル的な役割 が必要ではないかと考えます。人的ネットワークの構築の可能性を見いだす ことが出来るコミュニティカフェ運営をしていきたい。	

*活動内容がわかる写真を添付してください。

パソコン教室



折り紙教室



バザー



まちあるき



クリスマス会



苔だまづくり



昔懐かしおもちゃづくり



ひだまり寄席

平成28年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	小阪中校区まつり		
団体名	小阪中校区まつり実行委員会		
助成区分	スタート支援部門	助成金額	200,000 円

事業の目的・内容	目的	このまつりは、小阪中学校校区（小阪、八戸ノ里地区）の住民相互の出会いと楽しみを提供し、“地域愛”を育むことが最大の目的です。 今回も校区内にある施設である、東大阪アリーナを借用し、地元企業とコラボしながら楽しい一日を演出。
	内容	本まつりの前身は「教育協議会のおまつり」（発表会）のため、まつりは2部制とする。 <1部>校区の幼稚園児、小学生、中学生のダンス、斉唱、演奏、教職員によるステージ発表 <2部>ダンス甲子園、もぐもぐ横丁、フリーマーケット等

活動実績	<p>平成12年、実行委員会として発足。</p> <p>「小阪中校区まつり」の企画、運営は4回目を迎えます。実行委員は小阪、八戸ノ里地区にお住まいの34名ですが、その他にも近畿大学のボランティアスタッフや当日お手伝いのPTAスタッフ約40名、企業、行政のPRスタッフを含めると200名を超える大勢の人たちで運営しました。</p> <p>平成25年10月26日「第1回小阪中校区まつり」開催 開催場所：小阪中学校 来場者数 約4000名</p> <p>平成26年10月25日「第2回小阪中校区まつり」開催 開催場所：東大阪アリーナ 来場者数 約12000名</p> <p>平成27年9月23日「第3回小阪中校区まつり」開催 開催場所：東大阪アリーナ（企業共同開催） 来場者数 約15000名</p> <p>通年、6～7回の実行委員会、各委員会は随時開催（企画委員会・8回） スタッフ間の打ち合わせも随時</p>
------	--

目 標	<申請時> 来場者数 20,000名	<事業実施後> 来場者数 17,000名
事 業 の 成 果 ・ 効 果	<p>今回で4回目の開催という事で、スタッフ間の連携や事業運営自体もスムーズに進行できるようになりました。これも小阪中学校区を中心とする学校園、PTA、地域団体、地元企業、大学など幅広い年齢層の方々が一つとなって、企画から運営まで様々な議論を重ねてきた結果であると実感しております。</p> <p>また、地域の子どもたちに喜んでもらえるよう、地域の大人たちが協力している姿を見せることで、将来的にこの地域を支えてくれる人材育成を担う事業としてもその成果は表れてきております。</p> <p>そして今回は新たな試みとして、著名人によるゲストステージではなく、より親しみのあるまつりとするために、小阪中校区7校園の教職員によるステージ発表や近畿大学よさこいサークルをゲストとして、これまで以上に地域に密着したまつりとしてバージョンアップすることができました。</p> <p>また、地元企業や飲食店とのコラボレーションも強化したことで、より密度の濃い地域で作り上げる事業となりました。</p> <p>次年度以降も、多くの方で地域愛を育むまつりとして企画実行してまいりたいと考えております。</p>	
今 後 の 事 業 展 開	<p>複数回の開催実績で、ステージや模擬店等全体の運営については定番のものも継承しつつ新たな試みも盛り込むことができ、一定の安定感が出てきましたが、運営資金の調達という点では更なる努力が必要となります。</p> <p>今回も地元企業を巻き込んでのコラボレーションや、小阪・八戸ノ里を中心として活動する地元商店の集合体である、なのはなバルからの出店など、地域住民からの協賛だけでなく、企業や商店からの大口協賛を集める施策により、全体の運営資金比率が変化してきております。</p> <p>次年度以降は、単なる広告協賛ではなくご協力いただいた企業や商店のPR活動が出来るような企画を展開し、地域で共存する全ての方々に有益で、かつ楽しんでいただける事業として実施してまいります。</p>	

*活動内容がわかる写真を添付してください。



平成28年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	長屋を利用した交流拠点の創出		
団体名	あきばこ家		
助成区分	スタート支援 部門	助成金額	50,000 円

事業の目的・内容	目的	近畿大学建築学部の学生を中心に、近大通りにあるリノベーションされた長屋住宅のイベントスペースを利用し地域と近畿大学の学生、周辺地域の小学生との交流拠点を創出し、東大阪市の地域交流の発展へと貢献する。
	内容	拠点となる長屋のイベントスペースを学生運営の元、イベントの開催や地域の方々に貸し出しを行うことで地域の交流拠点事業を発展させる。 具体的には学生主体のイベントに子供たちや地域の方々を呼び込み、世代間交流を行う。また、地域の自治会や商店街に打診を行い、回覧板等で利用の募集を行う。

活動実績	あきばこ家主催のイベントについて、
	8月「パズルを作ろう」 参加者 10人 子供たちとテーマに沿ったパズルを作る
	9月「スライム作りイベント」 参加者:大人3人,子供5人 子供たちにもものづくりと科学の楽しさを知ってもらう。
	10月「防災イベント」 参加者 21人
	11月「木のおもちゃを作ろう」 参加者 10人 この葉など自然の物を切り貼りし楽しんでもらう
	12月「クリスマスイベント」 参加者:大人9人,子供11人 子供たちにサンタさんの家を設計してもらう。それを建築学生が模型にしてプレゼントする。
	1月「餅つきイベント」 参加者 40人
	2月「音楽イベント」 参加者 14人 近畿大学アカペラサークルとプロギタリストの佐久間さんをお招きしてのライブイベント。

目 標	<申請時> 年間 80 組の貸し出し（月 8 回の貸し出し、長期休みに関してはそれ以上）年間延べ 1,000 人以上の参加者を目標とする。	<事業実施後> 7月から2月までの間で 60 組の貸し出し。月平均 7.5 組の貸し出し。
事 業 の 成 果 ・ 効 果	長屋での毎月のイベントや広報活動などから“目標”にもある通り、サロン貸し出し利用者数の増加が数字として表れている。それにより、サロン貸し出しを毎週固定で利用してくれる方もいらっしゃるの、当初の目的である居場所事業としての成果と今後の展望が望めるだろう。 また、メディアからも注目をいただき、J:com さんなどにも何度も広報していただいた。今では様々な長瀬の活動誌、マップなどで知られるようになった。	
今 後 の 事 業 展 開	現在サロンをヨガの教室として利用されている方の発案により、長瀬周辺で子育てをしている母親同士の交流をヨガを通して行う取り組みが2月より始まり少しずつ活発化している。 また来年度から毎週月曜日と水曜日に東大阪養護老人ホームが中心となり高齢者を中心とした地域の居場所事業の拡大を検討しており 2月27日と3月15日にプレ事業として映画会などを実施する。	



平成28年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	山麓地域 皆で生き生き生きるサロン		
団体名	つながり会		
助成区分	スタートアップ 部門	助成金額	50,000 円

事業 の 目的 ・ 内容	目的	<p>昨今地域交流の機会が少なくなり、介護を抱え社会から孤立している方、独居高齢者、理解されにくい認知症の人達、若い世代の方でも障害があったり、子育てに悩む母親の孤立化に対して、既存の組織だけでは救いきれない現状がある中、サロンを開き、様々な方々との交流の場として、またゆくゆくは助け合いの場ともなるようにとの思いでサロンを開いている。</p>
	内容	<p>サロンの場所が、公道から入り込んでいる上、設置の看板や案内板が老朽化していたので刷新し、多くの方に知っていただき、気軽に入って頂きたいと思った。通常は体操の他、趣味活動。食事会、作品展などは不定期的に開催。地域包括支援センター千寿園、東保健センター、消費生活センター等の協力も得て講習会開催。</p>

サロン開放			
活動 実績	4月	3日間	25名
	5月	毎火・水・木	趣味活動・体操など 62名
	6月	毎火・水・木	(編み物、折り紙、俳句など) 89名
	7月	毎火・水・木	66名
	8月	毎火・水・木	口腔体操 (リフレッシュさんによる) ハーモニカ演奏&絵本の読み聞かせ 65名
	9月	毎火・水・木	悪質商法勉強会 58名
	10月	毎火・水・木	62名
	11月	毎火・水・木	お弁当を食べる会 57名
	12月	5日間	クリスマス会 30名
	1月	5日+4日間	ご近所さんの作品展 23名+100名
	2月	毎木曜	食事会&ギター演奏予定
	3月	毎木曜	

目 標	<申請時> <p style="text-align: center;">4 5 0 名</p>	<事業実施後> <p style="text-align: center;">5 3 7 名 + 作品展 100 名 計 637 名</p>
事 業 の 成 果 ・ 効 果	<p>自宅開放型サロンを、これからは協力者の方々の力を借りて開けるということを考え、週2日の予定を週3日開けることにしたが、時期尚早であったと思う。少ない人数が分散されると文殊の知恵も浮かばず、半年が過ぎた。秋ごろ食事会を案内すると思いの外大勢の参加があり、場所が狭くて申し訳ないやら嬉しいやら、その後クリスマス会をすることになったが、両日ともお膳立てしたわけではなかったが、参加者の中からハーモニカ、尺八、大正琴、ギター、フラダンスをしてくださる方もあり盛り上がった。</p> <p>本年1月の作品展には出展者の方をはじめご家族、ご親戚までも協力の下さり、多くの方にお越し頂き、地域に住む方々の応援を感じた。チラシを郵送と手配りで300枚ばかり案内し、案内のチラシの裏面には地図を記載。地図を載せることで、この度参加いただけなかった方に対しても、次回の足掛かりとなり、関心は持っていただけたかと思うので良かったと思う。チラシ印刷には地域包括の協力を得た。社協～五条老人センター、グリーンガーデンにはチラシを置いて案内していただく協力を得られ良かった。</p>	
今 後 の 事 業 展 開	<p>個人の家では、会館などの公共の場と違い、来る人に気づかいをさせてしまうと思ってきたが、昨春頃よりNPOで運営をしてはどうかという話が進み、特定非営利活動法人山麓和の会の設立となった。</p> <p>4月からは市の総合事業を受けて、毎木曜日を開放し、介護予防的サロンとして開放する予定である。また木曜日以外の曜日については、このたびの作品展で、次回はいつするのか？してもらえるのか？等の声が寄せられたので又是非やりたい。今後は、多くの方の意見をお聞きし、世代間交流の場としても、地域の良き場所として、場所を活用し事業展開を図りたい。</p>	

**作品出展者(82歳男性)と
ご家族に感謝！感謝！**

**みんなで作ろう素敵なサロン
ありがとう**



平成28年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	人形劇を地域で公演し、楽しんでもらい地域交流を図る事業		
団体名	特定非営利活動法人 きらりっこ		
助成区分	スタート支援部門	助成金額	200,000 円

事業 の 目 的 ・ 内 容	目的	核家族や高齢者が増え、人と関わる機会が少なくなっており、みんなが集える場所も少ない。しかし、集う場を求めている人はたくさんいるので人形劇を通してみんなが集える場を作る。
	内容	<p>たくさんの公演依頼を受け地域の様々な場所で公演することでみんなが人形劇を楽しみ、共感し、演じる人や観劇する人同士が互いに交流できる機会を作る。</p> <p>そのためにはこれまで以上に活動に携わるメンバーを増やし、音響機器を揃えたり、人形を製作し演じる題目を充実させるとともに、練習日を増やし腕に磨きをかける必要がある。またメンバー募集や公演場所・日時を知らせるチラシやポスターを作成・配布したりブログを活用することで、活動内容を地域の人に周知していく。</p>

活 動 実 績	○ 公演時・場所	
	4/2 きらりっこ一般開放日	1/7 きらりっこ一般開放日
	4/3 御厨地区の花まつり	1/30 高井田老人センター
	4/23 夢広場（東大阪市図書館イベント）	3/12 幼児教室
	5/14 養護施設「ガーデンロイ」	3/25 イコーラムホール（人形劇フェスティバル）
	7/3 イコーラム（若江岩田商店街イベント）	
	7/18 小阪教会	
	8/6 和音堂まつり	
	8/7 フレスポ東大阪（子育てフェスタ）	
	8/21 くすのきプラザ（希来里ファミリーまつり）	
	8/24 花園商店街	○夏休みワークショップ 2回
	9/29 めだか保育園	○作品作り・練習 月2回・随時
	10/18 老人通所施設「ヒロハウス」	○人形劇フェスティバルのチラシを地域の自治会
	11/30 荒本子育て支援センター	回覧板や行政サービスコーナーに設置

目 標	<p><申請時></p> <ul style="list-style-type: none"> ・観劇した人、演じた人がみんなニコニコ笑顔になるように。 ・月2回公演する。 ・3月に大きなホールを借りて地域の団体とコラボし人形劇フェスティバルを開催する。 	<p><事業実施後></p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなに楽しんでもらった。 ・月2回ではなかったが、たくさんの場所で公演できた。 ・3月25日、225人収容のホールで人形劇フェスティバル開催決定！！
事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの公演依頼があり、人形劇を観るだけの演目だけでなく観客とのやり取りを楽しむ演目を作り、観る者、演じる者がひとつとなる“参加型”人形劇で多くの観客の方たちに楽しんで頂けた。 ・子育て支援施設での公演だけでなく、商店街やまつり、高齢者の施設、地域のイベントで公演でき、子どもから高齢者まで幅広い年齢層が観に来てくださり、みんなが集う地域交流の場となった。 ・ワークショップはたくさん子どもたちとボランティアが集い人形劇を通じて世代間交流ができた。 ・助成金で購入したスピーカーアンプは音響機器が充実し、どんな場所の公演にも対応でき、演じやすくなった。 ・3月25日の人形劇サークルきらりっこ主催の大きなイベントに向けて大型の人形劇に取り組むなどメンバーは人形製作、練習に励み、今まで以上にやりがいを感じ、結束を固めている。 	
今後の事業展開	<ul style="list-style-type: none"> ・もっとメンバーを増やし、小作品から多人数人形劇などバラエティー豊富な公演ができるように作品作りや練習に励む。 ・多数公演し、資金作りに努め、年1回はホールなどでサークル主催のイベントを開催したい。 ・定期的に地域の商店街などで公演し地域交流していきたい。 ・ワークショップも子ども限定ではなく、多年齢向けのワークショップを開催し、人形劇の楽しさを通して世代間交流を深めたい。 	

*活動内容がわかる写真を添付してください。



平成28年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	梶無神社ふれあいやさい市開催事業		
団体名	梶無神社ふれあいやさい市実行委員会		
助成区分	スタート支援部門	助成金額	200,000 円

事業の目的・内容	目的	地域の神社として、地域に開かれた農産物直売市(マルシェ)の開催による地産地消・食の安全・独居老人を含む住民交流の場の提供と、地域の歴史・文化等のミニ講座を開催して地域住民の地域への愛着を深め、お互いに助け合う安全安心なまちづくりを進める。
	内容	地域に根差す神社として、地元の米・野菜・果物・花をはじめとして甘酒・ボン酢等の作り手が出店しての産直マルシェを定期開催し、生産者と消費者の交流、顔が見える食の安全への寄与、地元商店の活性化、住民同士の交流、地域の歴史・文化の共有・紹介など、マルシェを通じて周辺地域を盛り上げる。

活動実績	梶無神社ふれあいやさい市 実施日:5月15日、6月19日、7月17日、8月21日、9月18日、 10月16日、11月20日、12月18日、1月15日、2月19日、 3月19日(予定)の11回実施 《4月17日は強風のため中止》 出店数:各回9店~12店 ミニ歴史講座:8回開催(3月19日開催予定含む) 住民参加者数:各回300名~400名 (但し1月15日は1200名参加) 広報:縄手南校区自治会(上六万寺町・桜井・西六万寺・下六万寺町・横小路町)の各自治会掲示板に毎月ポスターの掲示と、広報紙を回覧。 (地域支援包括センターなるかわ苑が実施【やさい市に併せて境内で健康相談・介護相談をなるかわ苑が実施】)した。 各自治会・子供会・老人会等の立看板約100基、及び個人宅・商店・銀行等にやさい市開催ポスターを毎月掲示し、またのぼりをたてた。 ふれあい東大阪(28年5月号)、J:COM デイリーニュース(11月21日放送)でふれあいやさい市が紹介された。

目 標	< 申請時 > ふれあいやさい市参加人数 3,600名	< 事業実施後 > ふれあいやさい市参加人数 4,350名(3月開催予定分は含まず)
事業の成果・効果	<p>【成果】緑豊かな神社境内で、米・野菜・柿・いちご・花・パン・漬物・ボン酢・甘酒・陶器等のふれあいやさい市の開催により、延 4,350名の地域住民の参加があり、ミニ講座では住民に地域の歴史文化を発信でき、老若男女のふれあいの場・交流の場とすることができた。また生産者と消費者の交流を推し進めることができ、顔が見える食の安全への寄与ができた。</p> <p>【効果】産直マルシェの定期開催により、新鮮で顔が見える地元の農産物が購入できることとなり、食に対する安心感が芽生え、地産地消の促進が図れた。また多くの地域住民が顔なじみとなり、会話が弾んだことにより住民同士のふれあい・連帯感が強まり、地域への愛着が深まり、お互いに助け合う安全安心なまちづくりに寄与できた。</p>	
今後の事業展開	<p>ふれあいやさい市をこれからも継続的に開催することにより、食に対する安心感を推し進め、地産地消の促進を図ると共に、ふれあいやさい市での子ども会・青年団等各種団体へのブース開放により、より多くの住民の参加を図って、住民同士のふれあいを促進し、お互いに助け合うまちづくりを進めたい。更にはやさい市におけるミニ歴史講座開催にかかわって歴史文化に造詣の深い人材を有する東大阪市内の団体と連携を図り、やさい市での“出前講座”によって、住民への地域の歴史文化の発信をより強く推し進めたい。</p>	

*活動内容がわかる写真を添付してください。



平成28年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	安心・安全・快適なまちづくり事業		
団体名	2019RWC・Shin I keshima・「遊」・Space		
助成区分	事業チャレンジ部門	助成金額	50,000円

事業の目的・内容	目的	まず、老人漂流社会に対応した「ボランティア」活動を逐次実施し、地域に根ざした会として拡大・定着させていく。その延長線上で、「減災防災のまちづくり」と「東花園駅南側の住環境総合整備のウォッチャー」としての活動を高めていく。『安心で快適』、『減災・防災に強いまち』、『桜並木と三方清流に囲まれた町』。それが将来の夢である。夢実現のため多くの会員が自由に参加できる準備として、3部門の活動を継続し、展開中。
	内容	ラジオ体操(毎朝・雨天中止)、歌声サークル(月1回)、名画観賞会(月1回)を継続・拡大していく。 「健康長寿・新池島」を平面から立体化へ。それが夢。ラジオ体操=運動、歌声=体内活性化、名画=右脳開発。 歌劇団結成スタディ・混声合唱団結成スタディの調査活動。

活動実績	<p>○ラジオ体操部門 28年1月～12月で345日実施、延べ1万8千余人が参加した。 25年6月スタート以来、約3年半で千二百余日実施し、延べ参加者は6万7千余人。5月に、「1,000回に到達」記念セレモニーを実施。</p> <p>○歌声サークル部門 月1回、第4水曜日に開催。28年は毎回35～50人が参加。約2時間のうち、前半は童謡や名曲を合唱、後半はリクエスト曲を歌った。</p> <p>○名画会部門 月1回、第2水曜日に開催。28年度は毎回30～40人の参加者。</p> <p>○新規展開 ① 2019年「千人規模のラジオ体操」実現に向けて、着々と準備中。 ② 歌劇団結成スタディの検討会を開催したが、具体的な活動実施には至らなかった。</p>
------	---

目 標	<申請時> 2019 RWC 関連イベントとして、「千人体操」の実現を目指す。	<事業実施後> 新規事業について、活動を進めて行き。2017年度が具体化のタイムリミットと考える。
事 業 の 成 果 ・ 効 果	毎朝のラジオ体操は、新池島の風物詩になりつつある。会員・非会員を問わず広く参加を募り、地域住民の交流の場として定着してきた。全国ラジオ体操連盟にも加入。歌声サークルや名画会も含めて、高齢者の安否確認の場にもなっている。高齢者孤立化の共助、低湿地帯の老朽化住宅の減災意識も芽生え、買物難民の助け合いの動きも。住民意識が大きく変わり始めている。当会は発足6年目。将来のまちづくりについて、新池島町に住むみなさんと、安全で快適なまちづくりについて共に考え、語り、手を取り合っていく会です。会が地域住民にかなり浸透し、会員数も平成27年4月時点で、107人だったのが、平成28年2月時点で130人の体制になった。	
今 後 の 事 業 展 開	地道な活動を拡大展開することによって、「2019 RWC 祭り・地元後方支援」や「減災」運動など、次のステップへの体制が整いつつある。地道に努力を重ね、地域住民との共生を第1義に、新池島の未来デザインを実現していきたい。2019 RWC 花園まつりをソフト・ハード両面から盛り上げていく。同時に、東花園駅南地域全域の住環境総合整備のウォッチャーの役割も果たしていきたい。	

*活動内容がわかる写真を添付してください。



夏休み子供会とラジオ体操コラボ



体操開始 1000回記念

平成28年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	ポイ捨てボクメツ作戦		
団体名	ポイ捨てボクメツ作戦実行委員会		
助成区分	スタート支援 部門	助成金額	200,000円

事業の目的・内容	目的	東大阪市D地域のごみの清掃及び看板の設置による啓発活動を行うことで、大人や子ども・企業や行政と協働し、自分たちが暮らすまちへの愛着を深める。
	内容	道路通行時の散乱ごみに対して継続的な清掃活動を行う。 子どもと一緒に散乱ごみのある現場を回りポイ捨て防止看板を作成し、清掃を兼ねた看板設置イベントを実施する。

活動実績	<p>2017・2現在</p> <p>《会議》第15回開催（月1回）</p> <p>《事例研究と取材》①横浜ハマロードサポーター（横浜市役所） ②美しい港町横浜をつくる会（NPO事務局）③東大阪環境部・事業所（取材）④東大阪道路管理室・東大阪市みどり景観課（問合せ等） ⑤八尾土木事務所（取材・協力依頼）</p> <p>《清掃ボランティア参加》①恩智川クリーンリバープロジェクト（2名） ②アドプトロード（1名）③中央環状の道路清掃（1名）</p> <p>《イベント協力依頼》①花園小学校②花園北小学校③玉川小学校④本庄保育園⑤ハミンモンテッソーリスクール</p> <p>《広報・協力依頼》①玉川高等支援学校②桜通り近隣店舗</p> <p>《広報》①ホームページ開設②スクラムは一と掲載③市政だより掲示板掲載④チラシ配布など</p>
------	--

目 標	<p><申請時></p> <p>試験イベント・1回 本番イベント・1回 メンバー増員・2名</p>	<p><事業実施後></p> <p>H28・8・27に実施完了 H29・3・18に開催予定 増員1名</p>
事 業 の 成 果 ・ 効 果	<p>花園小学校と各自治会の協力を得られた。 宣伝のためのチラシなどを作成できた（NEWSのチラシ約100枚）。 協力者が増えた（花園小学校・花園北小学校・玉川小学校・保育園 玉川支援学校・各自治会・国際ボランティア学生協会）。 人員構成として、1名のメンバー加入が出来た。</p>	
今 後 の 事 業 展 開	<p>自主財源の確保 広報手段の検討 イベントの継続と新候補地の検討 実行委員会のメンバー拡大</p>	

*活動内容がわかる写真を添付してください。



平成28年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	森林保全整備活動と森林整備体験講座		
団体名	東大阪フォレストクラブ		
助成区分	事業チャレンジ部門	助成金額	140,000円

事業の目的・内容	目的	<p>生駒山の自然環境をより良好な状態で、次の世代に引き継ぐため、市民及び企業ならびに行政と協働し、森林保全整備活動を行う。</p> <p>また、体験講座を実施し、広く市民に対して森林の持つ公益性等森林整備の大切さをPRする。</p>
	内容	<p>上石切町2丁目地区の放置人工森林(ヒノキなどの過密林)を適正な成立本数まで伐採し、整備・保全活動を行う。</p> <p>一般市民向けに、森林の持つ公益性に興味を持ってもらうため、NPO 日本森林ボランティア協会より講師を招き森林整備体験講座を実施する。</p>

活動実績	4月17日(日)森林整備活動(除伐と道づくり) 雨天の為中止 ……有志3名
	5月15日(日)森林整備活動(午後定期総会) ……12名
	6月19日(日)森林整備活動(除伐と道づくり) 雨天の為中止
	7月17日(日)森林整備活動(除伐と道づくり) 雨天の為中止 ……有志5名
	《8月はお休みです》
	9月18日(日)森林整備活動(除伐と道づくり) 雨天の為中止 ……有志4名
	10月16日(日)森林整備活動(除伐と道づくり) ……12名
	10月23日(日)第2回東大阪市グリーンフェスタに丸太切り体験を出店 ……10名
	11月20日(日)森林整備活動と森林整備体験講座 ……15名
	12月18日(日)森林整備活動(除伐、枝打ち、道づくり) ……14名
	平成29年
	1月15日(日)森林整備活動(除伐と道づくり・市養成講座実習場の提供) ……24名
	2月19日(日)森林整備活動(除伐と道づくり) ……8名
3月19日(日)森林整備活動(除伐と道づくり)《見込み》 ……12名	

目 標	<p>＜申請時＞</p> <p>年間 11 日の活動で、延べ参加人員 120 名を目指す。</p> <p>また、新規会員の加入促進を図る。</p>	<p>＜事業実施後＞</p> <p>本年は天候に恵まれず、雨天中止が 4 日もあり、120 名参加目標は達成できなかったが、更に本会の PR に努め、若年層会員の入会を図る。</p>
事 業 の 成 果 ・ 効 果	<p>・森林整備体験講座の実施により、日本の森林・林業の特徴や現状を踏まえ、これからの目指す方向などについて理解ができた。</p> <p>市民は勿論のこと、会員のスキルアップもでき、森林は単に木材生産としての経済財ではなく、水源涵養や国土の保全など大きくは地球環境を守ってくれる、人類にとって大切な環境財であることを再認識させられた。</p> <p>・本年は、天候に恵まれない中、延べ参加者 100 名超により、約 0.2ha の森林整備と林内作業道 150m の整備並びに一部の枝打ち作業を行った。</p> <p>このことにより、林内が明るくなり林床にも日差しが届き、下草も生え始め土留め柵と相まって、わずかではあるが土砂の流失防止に貢献してきている</p>	
今 後 の 事 業 展 開	<p>より広く一般市民に向け、森林ボランティア活動の必要性を PR し、理解と協力を得ることは勿論のこと、会員（特に若年の）の獲得に勤めるとともに会員相互のスキルアップを進めるため、チェーンソー等の技術取得研修にも参加できるよう、資金確保もあわせて行いたい。</p> <p>また、将来的には、現在地以外でも活動できるよう、組織・体制の強化を図って行きたい</p>	

*活動内容がわかる写真を添付してください。



平成28年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	犬猫の殺処分ゼロを目指し、動物の命の大切さを啓発する事業		
団体名	HW J 東大阪		
助成区分	事業チャレンジ部門	助成金額	200,000 円

事業の目的・内容	目的	平成26年度は全国で101,338頭の犬猫が、東大阪市で400頭近くの犬猫が雑処分され、保健所への動物についての苦情が全国で6,000件以上もあります。これらの問題を解決するために、飼い主によるペットの適正飼育、終生飼養が一番大切なことだと考え、飼い主のペットの飼い方を啓発し、最終的には犬猫の殺処分をゼロにすることが目的です。
	内容	飼い主マナーアップキャンペーンとして、チラシやフン袋、迷子札を配布しています。 ペットとの同伴避難を促したり、命の大切さを訴える犬猫の殺処分の写真展を開催し、目で見て感じて犬猫の問題を意識していただいています。 また、沢山の方に知ってもらい参加してもらえるように、フェイスブックや、ネットを活用し犬猫の殺処分ゼロを目指しています。

活動実績	<p>★マナー大作戦： 飼い主啓発のためのチラシ配布を毎月開催しています。</p> <p>★写真展： 近大建築学部生さんがリノベーションされた長屋、盾津ふれあいフェスティバル、鴻池東校区総合防災避難訓練で開催しました。</p> <p>★猫の講習会： 猫の知識を高める為の講習会4回開催しました。</p> <p>★講演会： 東大阪市動物指導センター所長と、東京都議会議員塩村あやか先生をお招きして、ユトリートホールにて講演会開催しました。</p> <p>★譲渡会の手伝い： 東大阪市で保護活動されている、わん LOVE さんの譲渡会のお手伝いを近大建築学部生さんがリノベーションされた長屋、動物病院、ドックカフェ等</p>
------	--

目 標	<p>＜申請時＞</p> <p>犬の飼い主へのマナー啓発キャンペーン（パンフレットをお渡しする人数 120 人×12 回）・猫の避妊去勢講習会（20 人×4 回）・写真展（平均 150 人×4 回）・譲渡会（100 人×2 回）</p>	<p>＜事業実施後＞</p> <p>犬の飼い主へのマナー啓発キャンペーン（パンフレットをお渡しする人数 120 人×12 回）・猫の避妊去勢講習会（平均 10 人×4 回）・写真展（平均 150 人×3 回）・譲渡会（平均 100 人×5 回）</p>
--------	--	--

事 業 の 成 果 ・ 効 果	<p>★犬猫の迷子や譲渡問題：</p> <p>私たちは、SNS での動画や写真を使ったり、チラシの配布を行ったりして、東大阪市動物指導センターの迷子収容犬猫や譲渡対象になった犬猫の情報を発信しました。センターで咬む犬だと判定された一頭以外は新しい飼い主さんにつなげることができ、結果として東大阪市動物指導センターの譲渡率を上げることができました。また、センターに収容される前に保護された犬猫についても東大阪市の他ボランティアと連携し、譲渡会を開催しています。</p> <p>★犬猫の意識問題：</p> <p>犬猫の殺処分を減らす為に、念願であった東大阪市動物指導センター所長と東京都市議会議員の塩村あやか先生をお招きし動物愛護講演会を開催し、沢山の方に参加していただき、東大阪市が犬猫殺処分等の問題に意識の高い地域であるとアピール出来ました。また、鴻池東小学校や盾津中学校などで写真展、近大建築学部生さんがリノベーションされた長屋では、写真展と譲渡会を開催し沢山の方にきていただき、問題を身近に感じていただきました。</p> <p>★猫の問題：</p> <p>猫の講習会では、獣医師さんや、猫のボランティアさんを招き、実際の避妊手術を見て、避妊手術の必要性や、効果、TNR の方法、リスクや、実際に捕獲器を作るなどしました。今までは犬が中心の活動をしていたのですが、猫の問題に対応できるように勉強しました。</p> <p>★飼い主意識の問題：</p> <p>マナー大作戦は、かなり認知していただいています。飼い主さんにチラシを配布するだけでなく、迷子札の必要性や、震災の話などコミュニケーションをとり、フェイスブックにペットの写真を投稿させていただき協力をしていただいています。</p>
--------------------------------------	---

今 後 の 事 業 展 開	<p>今の活動を継続することに加え、動物に対しての問題解決方法を市と市民が一緒になって、話し合える場や機会をつくりたいと思っています。</p> <p>また、子供たちに命の大切さを伝え、東大阪市をペットと人間が幸せに暮らせる街にするように活動していきたいと考えています。</p>
---------------------------------	--



会員大募集♪

HWJ東大阪 フェイスブック

★★一緒に活動してくれる仲間を募集しています★★

hwjgogo@yahoo.co.jp お問い合わせください♥

平成28年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	宮本順三記念館・豆玩舎 ZUNZO 未来の夢と文化の駅事業		
団体名	特定非営利活動法人おまけ文化の会		
助成区分	まちづくりファンド調査 研究部門部門	助成金額	368,000円

事業の目的・内容	目的	<ul style="list-style-type: none"> ① 市民が学び・体験する場とプログラム開発、工作・遊具室の環境整備、社会教育の場として基盤や拠点整備を行う。 ② 駅前の好立地を利用し、東大阪の文化施設として周辺の情報発信する “文化の駅” として空間と入口の整備。 ③ 国際交流や外国人向けの見学と体験の案内チラシ作りなど
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ① 街の歴史や文化を学び、今を知るための市民のための勉強会やシンポジウム意見交換会、親子向けの体験イベント開催し、ワークショップやアンケート調査などを行う。 ② 空間・環境調査を行い、イメージ図・パースを作成する。 ③ NPO 法人やボランティア団体による文化施設の運営方法や組織の在り方、学び・体験プログラム内容の調査を行う

活動実績	<p>4～5月…10～40代を中心の活動グループを立上げ、勉強会を重ねる。</p> <p>6月…合同会議。ならまちからくりおもちゃ館へ視察。</p> <p>7月…勉強会と意見交換会を実施（30名参加）</p> <p>8月…親子向けイベント・ワークショップ・意見交換会（2日間で80名参加）</p> <p>9月…勉強会。東京おもちゃ美術館視察。</p> <p>10月…国立民族学博物館視察。MMPボランティアに学ぶ。空間調査開始</p> <p>11月…シンポジウム・意見交換会開催。空間調査</p> <p>12月…空間調査</p> <p>1月…図面仕上げ。空間整備内容の検討。“文化の駅”事業に河内の郷土文化サークルセンター・東大阪観光協会協力依頼</p> <p>2月…イメージ図・パース作成。ものづくり企業10社商品選定報告資料作成等</p> <p>3月…菜の花バル“文化の駅”仮オープン。昭和の東大阪写真展 ZUNZOの愛した街の100年の歩みとものづくり企業10紹介。</p>
------	--

目 標	<p><申請時> ワークショップ参加者 30人×3回 =①90人 まちぐるみ意見交換会 10人×2回 =②20人 まちぐるみ勉強会…20人、シンポジウム 11月…30人=③50人 ①+②+③合計160人参加。</p>	<p><事業実施後> ワークショップ参加者3回(5月5日27・8月27日41・28日76)=①144人 まちぐるみ勉強会・意見交換会30(7月10日)・意見交換会親子23(8月28日)・勉強会31(9月4日)=②84人 シンポジウム(11月20日)=③60人 ①+②+③合計288人参加。</p>
事 業 の 成 果 ・ 効 果	<p>勉強会・シンポジウム等の参加者が予想以上に多く、市民が街の現状や歴史と文化について関心が高い事がわかった。また意見交換会は地域で活躍する団体・異業種交流の場となり、アンケートも多世代から得られた。近大・商大・樟蔭の学生さんが参加するなど新たな若い世代の協力も得られた。</p> <p>体験プログラム開発では、大阪の伝承玩具やプラスチック成型、学生向けのカッタークラフトを開発し、ワークショップで実施した。</p> <p>視察では、東京おもちゃ美術館の50年の歩みと事業型NPO法人の経営・運営理念や地域コミュニティのあり方を学び、また日本グットトイ委員会・関西おもちゃコンサルタントと当会の協力関係をつくる事が出来た。</p> <p>国立民族学博物館MMP(ボランティア)の学校団体向け講座「世界の民族を知る体験講座」は学校向けに取入れたい。国際文化事業として英訳チラシを制作・東大阪国際交流フェスティバルに参加・配布した。主催者団体が記念館に訪れるなど国際交流活動にも地元の協力を得られた。</p> <p>11月「大阪の文化と経済を語る」の講演会では、河内文化の歴史的な位置づけ・文化発展が経済発展に繋がること・若者と文化活動など大阪の文化と経済を支えるための課題を知った。4月から活動しているZUNZOさがし待・若手チームによる環境調査(空間の実測)を行い、体験室・文化の駅空間などの改修前の状況を把握して今後のデザインをまとめる事が出来た。</p> <p>また「文化の駅」を地元商店会の協力で3月12日菜の花バルで仮オープン。「東大阪の昭和写真展」(河内の郷土文化サークルセンター協力)、歴史と文化あるものづくり企業の紹介(観光協会や工場を記録する会協力)をする。</p>	
今 後 の 事 業 展 開	<p>「文化の駅」では、街の歴史と文化の情報発信とともに伝統と歴史あるものづくり企業の紹介と商品を販売。小阪で創業のホルベイン工業の画材の絵画教室やオルファカッターによる工作、ものづくり企業の道具や材料を用いた教室の開催。また、街歩きを楽しむための情報やグッズも東大阪ならではのものを設置して、地元住民にも他府県の人にも「文化の駅」が楽しいスポットとなるように改修工事を進めてゆきたい。駅前の好立地を利用して街全体と宮本順三記念館が文化的に発展してゆくような仕組みをつくる。</p>	

*活動内容がわかる写真を添付してください。



8月親子イベント・意見交換
(協力:関西グットトイ委員会)



11月シンポジウム
「大阪の文化と経済を語る」



9~11月 空間調査・実測
若手チーム

平成28年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	「日下山」利活用促進整備事業		
団体名	日下山を市民の森にする会		
助成区分	まちづくりファンド 調査研究部門	助成金額	48,000円

事業の目的・内容	目的	子ども達の総合学習のための環境整備、日下山を利活用する人たちの快適性、安全性を提供する第1歩として、休憩所やトイレを整備する必要があると考える。その前段としての地域のニーズの把握
	内容	ポスターやリーフレットを作成し、地域住民や小学校へのアンケート調査や意見交換会を開催した。

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 28年9月11日(日)「休憩所とトイレ」予定設置場所と内容の説明の会議をする。 26人 ・ 10月19日(水) 財産区長酒井氏と打ち合わせ 3人 ・ 11月4日(金) アンケート・ポスターの打ち合わせ 4人 ・ 11月23日(日) 東大阪ガールスカウト、ポスター依頼 ・ 11月20日(日) アンケート配布 300枚 (孔舎衛小学校・孔舎衛幼稚園・日下自治会・地域の方) ・ 12月4日(金) アンケートをまとめる 2人 ・ 12月11日(日) 第1回目意見交換会 22人 ・ 29年1月22日(日) 日下財産区長 酒井氏宅 第1回目意見交換会の報告、トイレの設置場所の話し合い 3人 ・ 2月12日(日) 第2回目意見交換会 15人
------	---

目 標	<申請時> ・アンケート回収件数：250～300人 ・意見交換会：20人（10人×2回）	<事業実施後> ・アンケート回収件数：274人 ・意見交換会：37人 （第1回 22人 第2回 15人）
事 業 の 成 果 ・ 効 果	・トイレ並びに休憩所の構想の合意ができた。 ・日下山の会員として活動に参加しているものと、地域で支えていただいている自治会の方々や、地域の人と意見交換・交流ができた。 ・日下山への関心がたかまり、市民の会への理解が深まった。	
今 後 の 事 業 展 開	平成29年度には、具体のトイレ並びに休憩所の設置に取り組みたい。	

*活動内容がわかる写真を添付してください。



東大阪市地域まちづくり活動助成金交付
「まちづくりファンド調査研究部門」

**日下山「バンドラの丘」休憩所及びトイレ設置
第2回意見交換会を行います**

日時：平成29年2月12日 午後3時～4時
場所：日下自治会館 大会議室

日下山を市民の森にする会

私たちの「木」が大きくなったら
「山」を育てたいです
会長は日下山の「春・夏・秋・冬」をイメージしています
実行：レスカウト第52団作成

平成29年2月12日

日下自治会館 大会議室

日下山を市民の森にする会

平成28年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	「ラグビー聖地花園をもうひとつの聖地に」関連事業調査研究		
団体名	「ラグビー聖地花園をもうひとつの聖地に」実行委員会		
助成区分	まちづくりファンド 調査研究 部門	助成金額	400,000円

事業の目的・内容	目的	ラグビー観戦等で訪れた際にラグビー場以外に立ち寄ることなく、帰宅される来場者の傍ら、聖地花園の良さやラグビーのほか地域をもっと知ってもらい、また滞在に繋げ、観光客など幅広い層に立ち寄ってもらう事を目的に、新たな魅力で関心を持ってもらえるように集客拠点整備をを立案、新たな顔を持つことが花園の将来（レガシー）に繋がるのではという動機から立ち上げました。
	内容	高校ラグビーの聖地花園は改修により集客力や照明設備を持つ施設になります。現状、花園中央公園の夜は集客が極端に減る。「ラグビーの聖地花園をもうひとつの聖地に」をテーマに、恋人たちの聖地として、夜も人が集える企画で、公園に新たな「光」の演出を創り注目される集客拠点を創造するものであります。

活動実績	2/17 実行委員会幹部向け 第1回ワークショップ開催 ※別添 ppt データ 西村保、平川康熙、田中義憲 計3名、講師 荒川満徳、楯川修二
	2/27 第2回ワークショップ開催 ※別添 ppt データ 実行委員 3名、各自治会長・会員 13名参加
	3/中旬 実行委員会組織再編
	【年度末までの予定】 3/26 第3回ワークショップ開催
	3/27 第4回ワークショップ・現地照射 現地にてデモ機を使い照射し、機材の性能を検証 その検証時には自治連合会長を通じて約6,000世帯に広報をし、地域の皆様にも集まって観覧いただく事を計画しています。

目 標	<申請時> 夜間の花園公園の魅力創出、 話題喚起と集客による地域活性	<事業実施後>
事 業 の 成 果 ・ 効 果	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度に向けての詳細計画ができた。 その際の地域の問題想定、プレゼンテーションの機会が得られた。 ・機材等を抽出し性能の違いなどを研究した。 ・ワークショップを行い、いろいろなご意見を聞くことができた ※ppt データ 	
今 後 の 事 業 展 開	<p>光をテーマに人々が集う仕掛けでラグビーワールドカップの開催に伴い、ナイトイベントの開催で今まで集まりにくかったロケーションを安全で安らげる空間を創り、人々の交流空間を形成します。</p> <p>また、今事業を皮切りにひとつひとつ灯され始める明かりが連鎖すべく発生する光の増設で、夜間の賑わいを醸成し、観光拠点と繋いでゆきたいと考えております。</p>	

*活動内容がわかる写真を添付してください。

